

# 第六次鳥羽市総合計画に関する アンケート調査 結果報告書

令和7年9月  
鳥羽市

## 目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1. あなた自身について .....	2
2. 鳥羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について .....	6
3. 市政情報の入手について .....	20
4. 市職員への印象について .....	24
5. 市政に対する満足度・重要度について .....	26
6. 2040 年に向けたまちづくりについて .....	33
7. 防災のまちづくりについて .....	42

# I アンケート調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、令和3年度からスタートした第六次鳥羽市総合計画前期基本計画の取り組みを評価するために、広く市民の皆さまのご意見を伺い、今後の鳥羽市のあり方を描いていくことを目的として実施しました。

## 2. 調査概要

項目	市民アンケート調査
調査対象者	市内在住の18歳以上の方（無作為抽出）
調査期間	令和7年6月16日（月）～6月27日（金）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式 または、WEB回答による本人回答方式
配布数	2,000件
有効回収数	615件（郵送：513件、WEB：102件）
有効回収率	30.8%

## 3. 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位と第2位に網掛けをしています。

◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計についてコメント対象外としています。

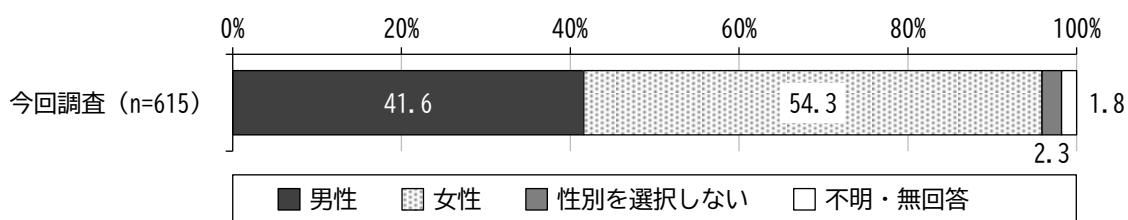
◇前回調査は、第六次鳥羽市総合計画前期基本計画策定時の令和元年に実施した市民意識調査を指します。（満足度・重要度は令和元年度と項目が異なるため令和3年に実施した調査と比較）

## II アンケート調査結果

### 1. あなた自身について

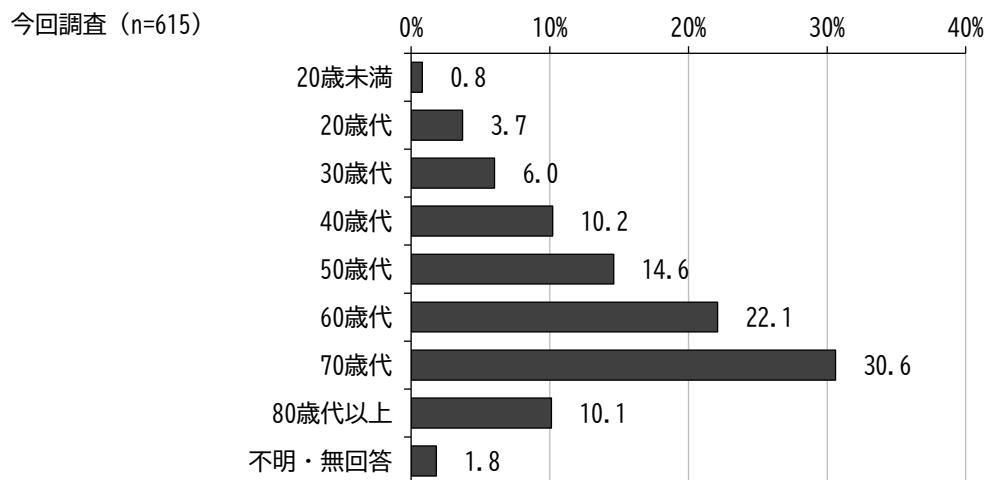
Q15 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別についてみると、「男性」が 41.6%、「女性」が 54.3%、「性別を選択しない」が 2.3%となって います。



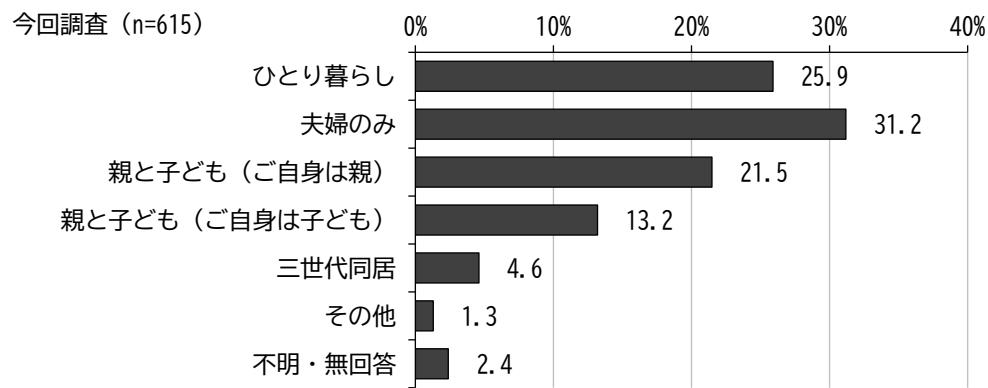
Q16 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

年齢についてみると、「70 歳代」が 30.6%と最も高く、次いで「60 歳代」が 22.1%、「50 歳代」が 14.6%となっています。



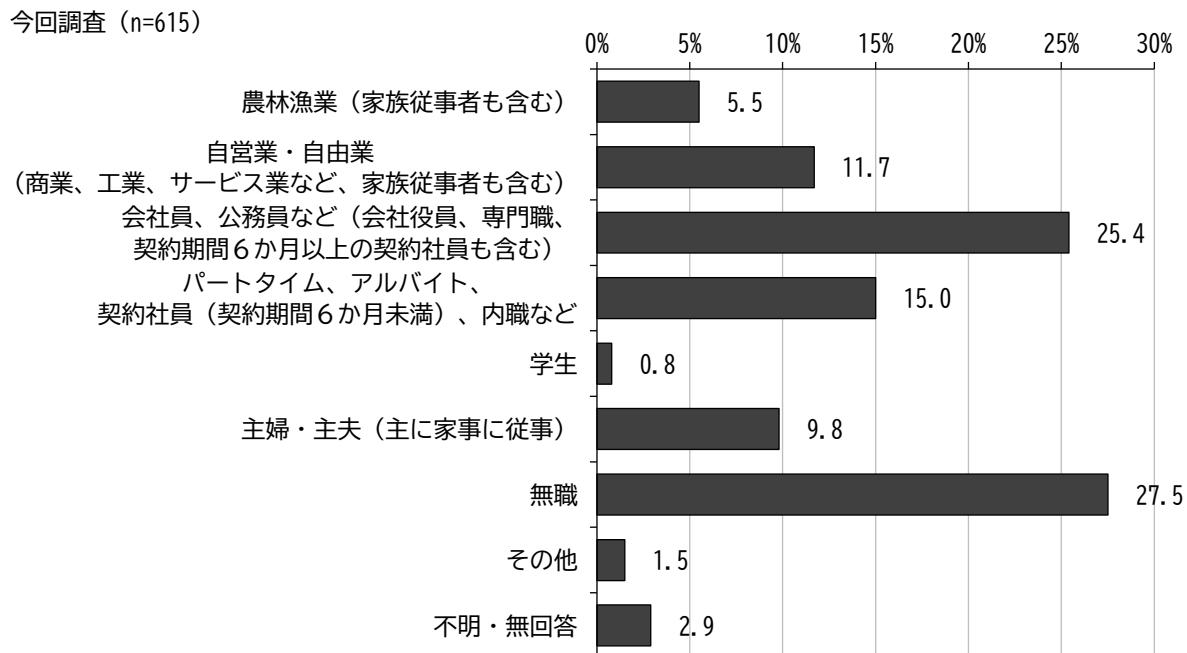
## Q17 あなたの世帯構成を教えてください。(1つに○)

世帯構成についてみると、「夫婦のみ」が31.2%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が25.9%、「親と子ども（ご自身は親）」が21.5%となっています。



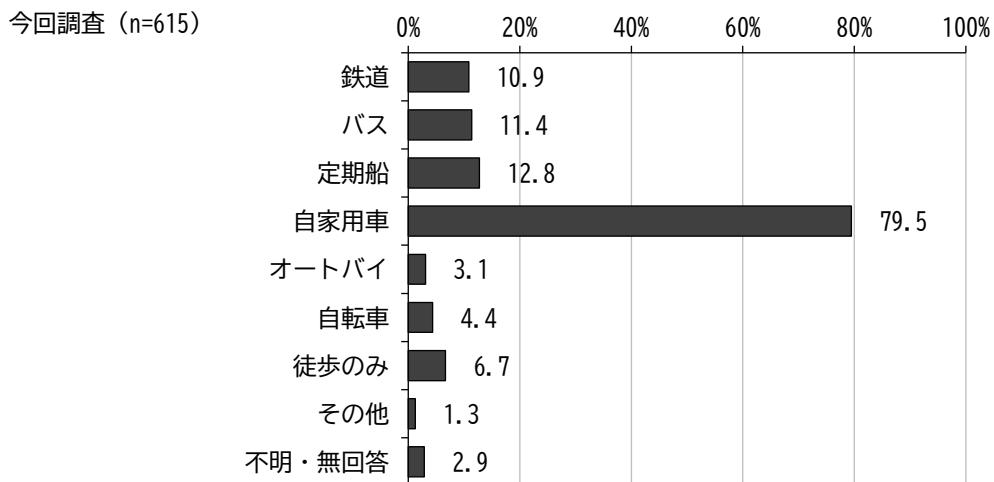
## Q18 あなたの職業を教えてください。(兼業の方は、主たる職業についてお答えください)(1つに○)

職業についてみると、「無職」が27.5%と最も高く、次いで「会社員、公務員など（会社役員、専門職、契約期間6か月以上の契約社員も含む）」が25.4%、「パートタイム、アルバイト、契約社員（契約期間6か月未満）、内職など」が15.0%となっています。



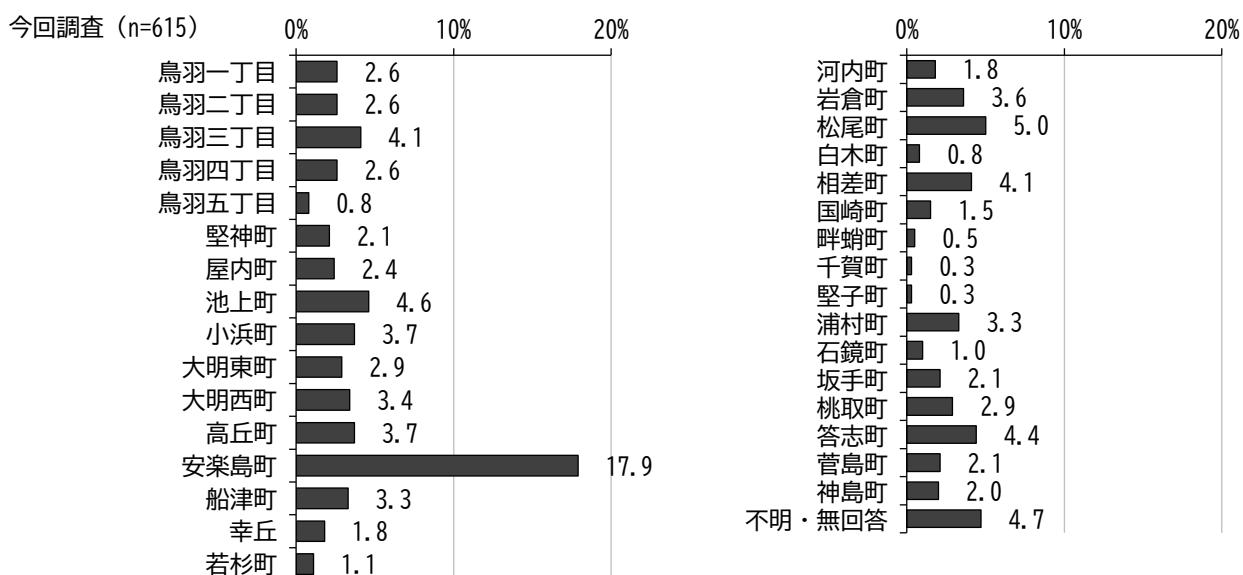
**Q19 あなたが、通勤・通学、日常的なお出かけの際に利用している交通手段はどれですか。(あてはまるものすべてに○)**

交通手段についてみると、「自家用車」が 79.5%と最も高く、次いで「定期船」が 12.8%、「バス」が 11.4%となっています。



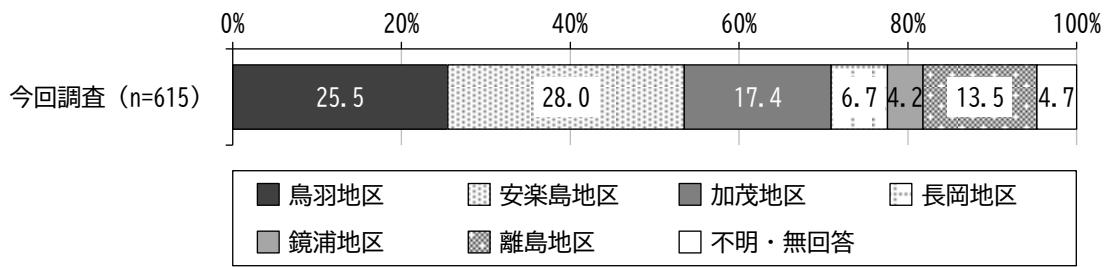
**Q20 あなたのお住まいの地区を教えてください。(1つに○)**

居住地域についてみると、「安楽島町」が 17.9%と最も高く、次いで「松尾町」が 5.0%、「池上町」が 4.6%となっています。



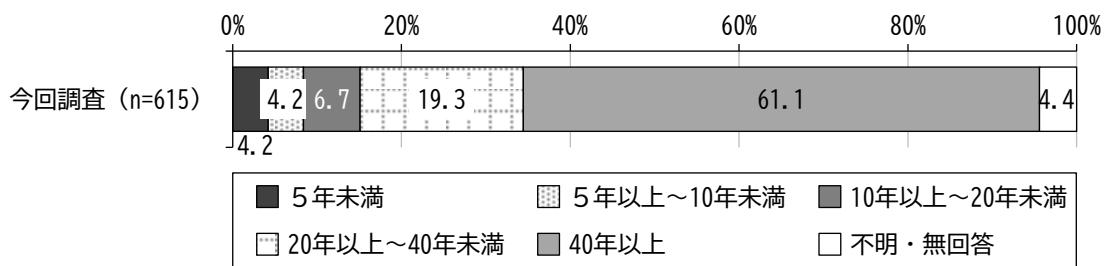
## ◆居住地区

居住地区についてみると「安楽島地区」が28.0%と最も高く、次いで「鳥羽地区」が25.5%、「加茂地区」が17.4%となっています。



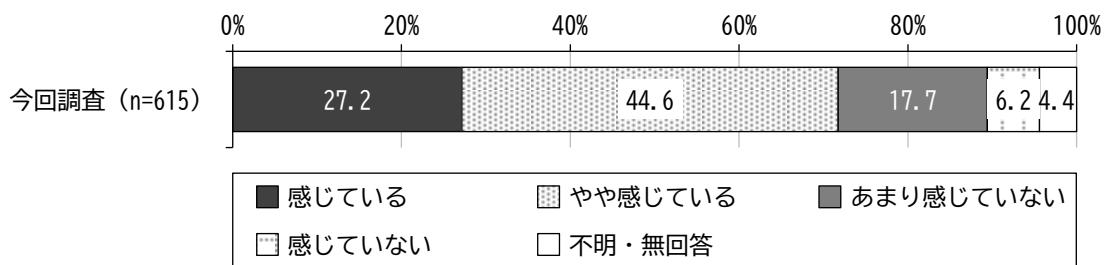
## Q21 あなたは鳥羽市に何年住んでいますか。(1つに○)

居住年数についてみると、「40年以上」が61.1%と最も高く、次いで「20年以上～40年未満」が19.3%、「10年以上～20年未満」が6.7%となっています。



## Q22 あなたは鳥羽市に住んで幸せを感じていますか。(1つに○)

幸福度についてみると、「やや感じている」が44.6%と最も高く、次いで「感じている」が27.2%、「あまり感じていない」が17.7%となっています。



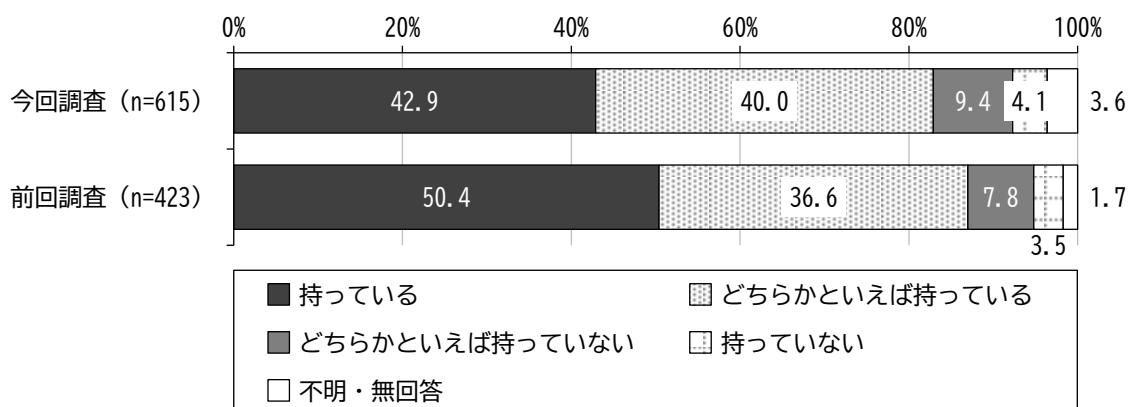
## 2. 鳥羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について

Q1 あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。(1つに○)

### 【全体】

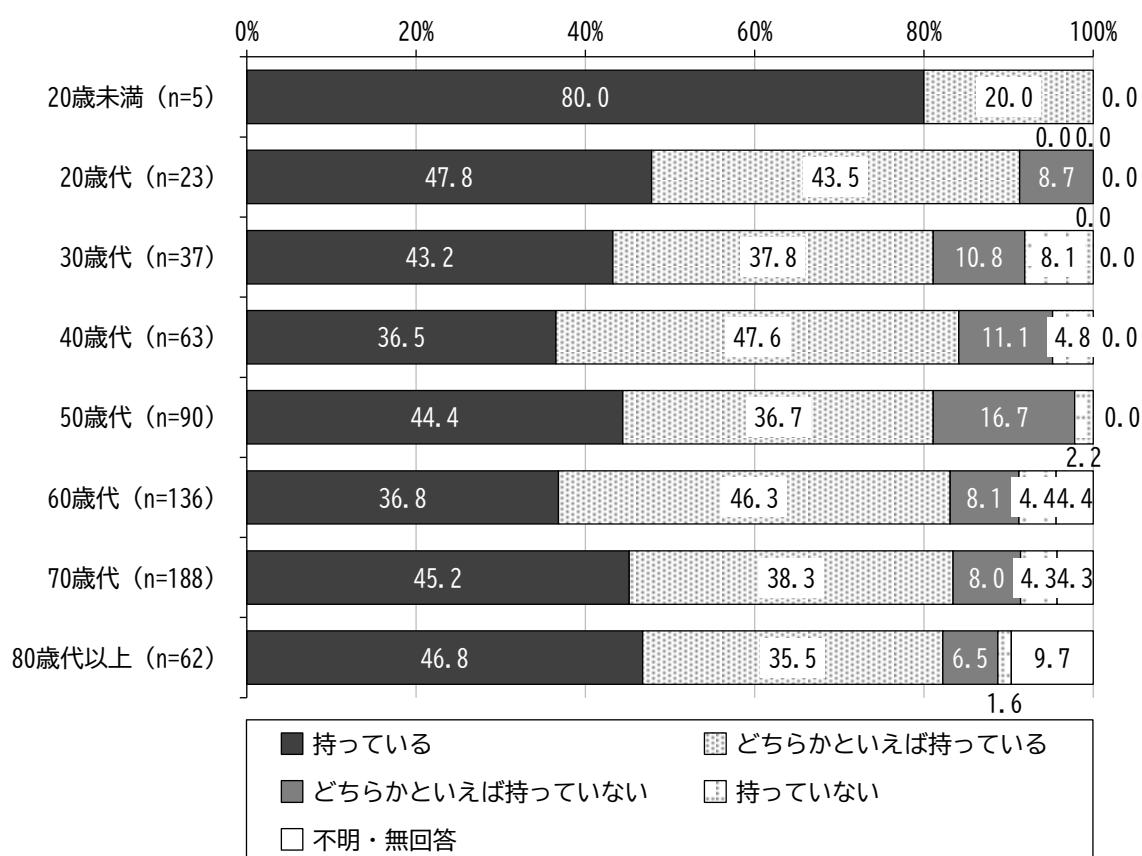
居住地域への愛着についてみると、「持っている」が42.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば持っている」が40.0%、「どちらかといえば持っていない」が9.4%となっています。

前回調査と比較すると、「持っている」が7.5ポイント減少しています。



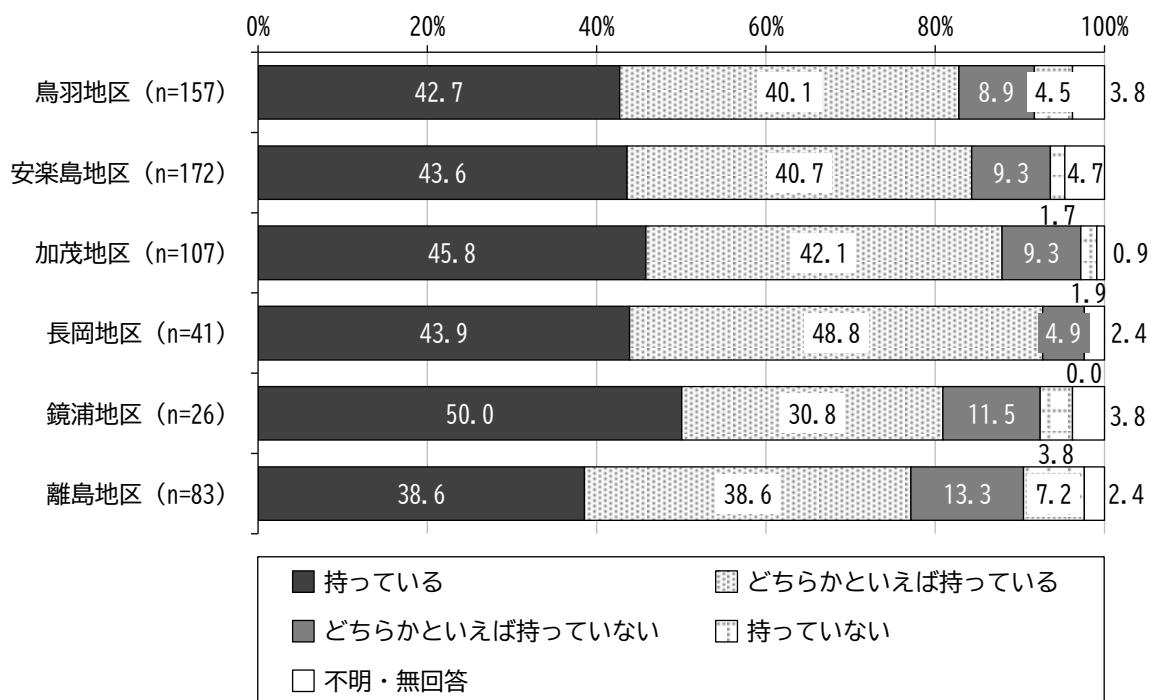
### 【年代別】

年代別にみると、40歳代、60歳代では「どちらかといえば持っている」、その他の年代では「持っている」がそれぞれ最も高くなっています。



## 【地区別】

地区別にみると、長岡地区では「どちらかといえば持っている」、離島地区では「持っている」「どちらかといえば持っている」、その他の地区では「持っている」がそれぞれ最も高くなっています。

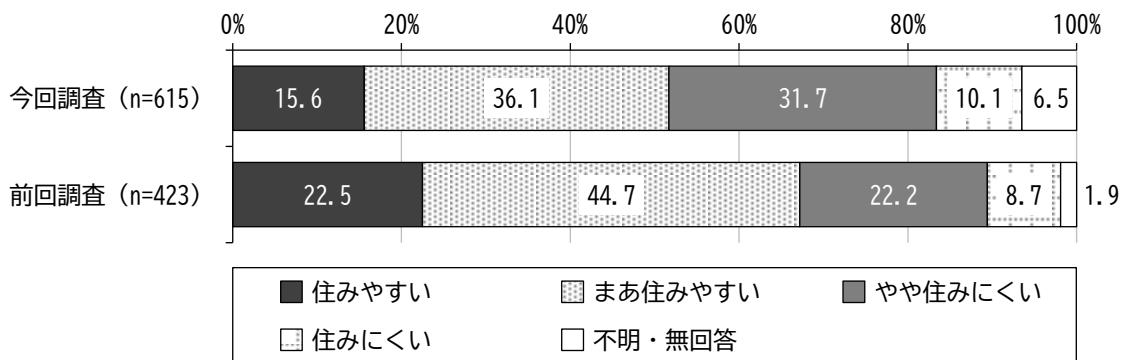


## Q2 あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。(1つに○)

### 【全体】

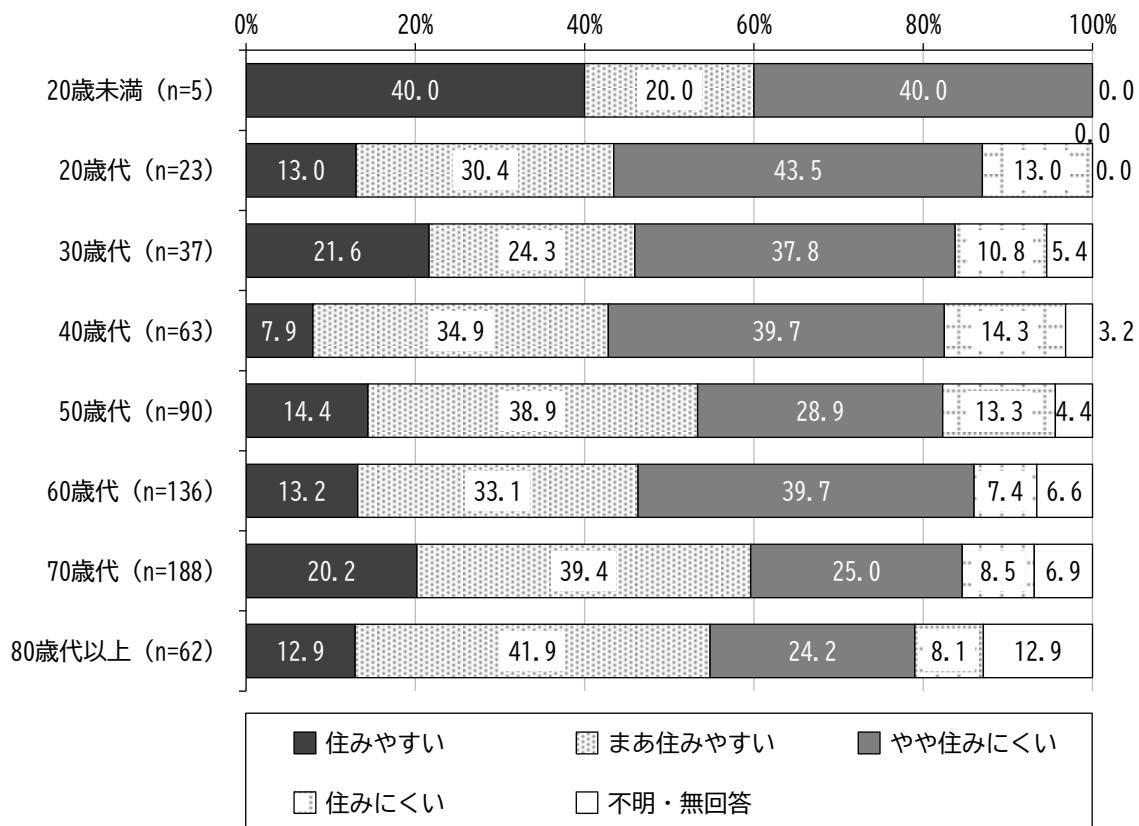
住みやすさについてみると、「まあ住みやすい」が 36.1%と最も高く、次いで「やや住みにくい」が 31.7%、「住みやすい」が 15.6%となっています。

前回調査と比較すると、「やや住みにくい」が 9.5 ポイント増加し、「まあ住みやすい」が 8.6 ポイント減少しています。



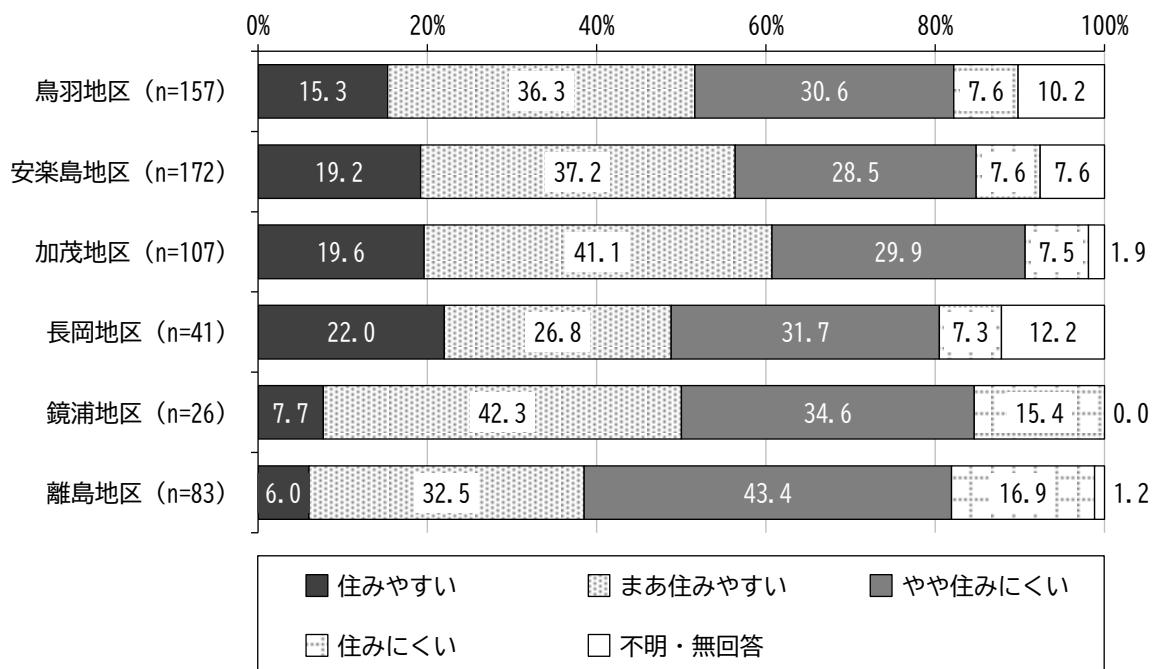
### 【年代別】

年代別にみると、50 歳代、70 歳代、80 歳代以上では「まあ住みやすい」、その他の年代では「やや住みにくい」がそれぞれ最も高くなっています。



## 【地区別】

地区別にみると、長岡地区、離島地区では「やや住みにくい」、その他の地区では「まあ住みやすい」がそれぞれ最も高くなっています。



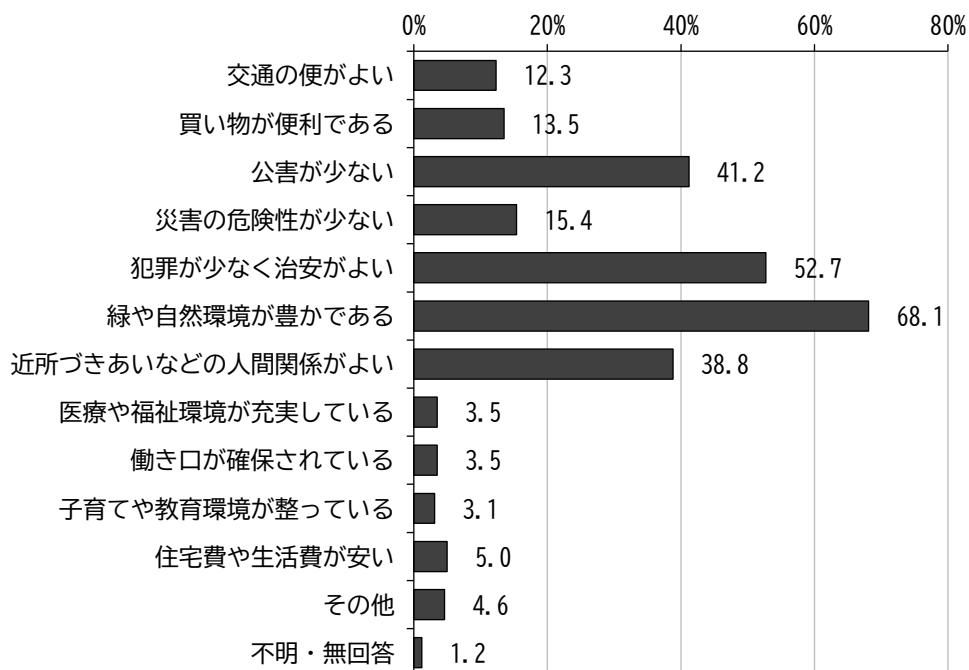
Q2で「住みやすい」「まあ住みやすい」を選んだ方のみ

Q2-1 それはどういった理由からですか。(主なもの3つまで○)

【全体】

住みやすいと思う理由についてみると、「緑や自然環境が豊かである」が 68.1%と最も高く、次いで「犯罪が少なく治安がよい」が 52.7%、「公害が少ない」が 41.2%となっています。

今回調査 (n=260)



【年代別】

年代別にみると、いずれの年代も「緑や自然環境が豊かである」が最も高くなっています。

単位：%		交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	災害の危険性が少ない	い犯罪が少なく治安がよ	ある緑や自然環境が豊かで	間近所づきあいなどの人	して医療や福祉環境が充実	る働き口が確保されてい	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が安い	その他
今回調査 (n=260)		12.3	13.5	41.2	15.4	52.7	68.1	38.8	3.5	3.5	3.1	5.0	4.6
年代別	20歳未満 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=5)	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	30歳代 (n=5)	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	40歳代 (n=14)	14.3	7.1	14.3	0.0	64.3	71.4	64.3	7.1	7.1	14.3	14.3	0.0
	50歳代 (n=35)	8.6	17.1	48.6	11.4	57.1	80.0	25.7	0.0	8.6	5.7	2.9	2.9
	60歳代 (n=56)	7.1	8.9	33.9	14.3	58.9	78.6	48.2	0.0	3.6	1.8	3.6	7.1
	70歳代 (n=108)	11.1	12.0	44.4	19.4	52.8	63.0	37.0	5.6	1.9	1.9	3.7	4.6
	80歳代以上 (n=32)	25.0	28.1	50.0	18.8	37.5	53.1	40.6	6.3	3.1	0.0	3.1	0.0

## 【地区別】

地区別にみると、長岡地区では「近所づきあいなどの人間関係がよい」、その他の地区では「緑や自然環境が豊かである」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	災害の危険性が少ない	い犯罪が少なく治安がよい	ある緑や自然環境が豊かで	間近所づきあいなどの人	し医療や福祉環境が充実	る働き口が確保されてい	整子育てている教育環境が	住宅費や生活費が安い	その他	不明・無回答
今回調査 (n=260)		12.3	13.5	41.2	15.4	52.7	68.1	38.8	3.5	3.5	3.1	5.0	4.6	1.2
地区別	鳥羽地区 (n=64)	18.8	6.3	40.6	9.4	53.1	71.9	40.6	6.3	3.1	1.6	0.0	7.8	0.0
	安楽島地区 (n=79)	12.7	27.8	41.8	19.0	53.2	63.3	30.4	1.3	3.8	2.5	6.3	2.5	1.3
	加茂地区 (n=50)	16.0	14.0	46.0	16.0	48.0	70.0	28.0	4.0	4.0	4.0	8.0	4.0	2.0
	長岡地区 (n=17)	0.0	0.0	52.9	29.4	52.9	52.9	70.6	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9
	鏡浦地区 (n=12)	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	83.3	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0
	離島地区 (n=28)	3.6	3.6	25.0	14.3	67.9	67.9	60.7	3.6	0.0	7.1	3.6	0.0	0.0

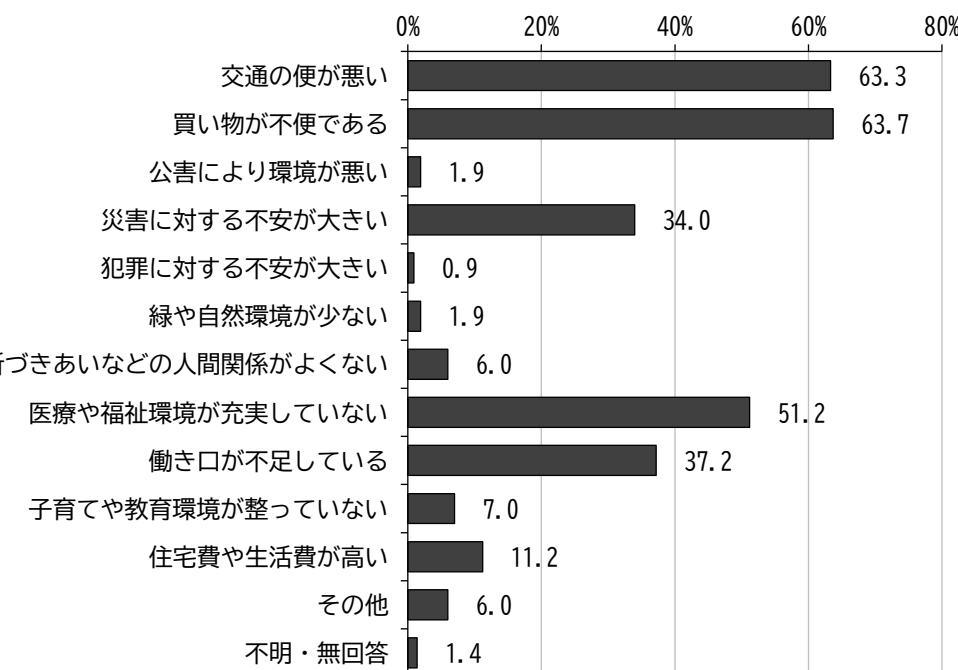
Q2で「やや住みにくい」「住みにくい」を選んだ方のみ

Q2-2 それはどういった理由からですか。(主なもの3つまで○)

【全体】

住みにくいと思う理由についてみると、「買い物が不便である」が 63.7%と最も高く、次いで「交通の便が悪い」が 63.3%、「医療や福祉環境が充実していない」が 51.2%となっています。

今回調査 (n=215)



【年代別】

年代別にみると、40歳代では「買い物が不便である」「医療や福祉環境が充実していない」、50歳代、60歳代では「買い物が不便である」、70歳代、80歳代以上では「交通の便が悪い」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	き災害に対する不安が大	き犯罪に対する不安が大	緑や自然環境が少ない	間近所づきあいなどの人	し医療や福祉環境が充実	働き口が不足している	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が高い	その他	不明・無回答
今回調査 (n=215)		63.3	63.7	1.9	34.0	0.9	1.9	6.0	51.2	37.2	7.0	11.2	6.0	1.4
年代別	20歳未満 (n=1)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=4)	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	30歳代 (n=9)	88.9	66.7	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0
	40歳代 (n=26)	38.5	57.7	0.0	50.0	0.0	0.0	3.8	57.7	42.3	11.5	19.2	11.5	0.0
	50歳代 (n=34)	61.8	70.6	0.0	23.5	2.9	0.0	14.7	58.8	50.0	5.9	5.9	0.0	0.0
	60歳代 (n=56)	58.9	64.3	0.0	35.7	0.0	1.8	5.4	55.4	39.3	8.9	14.3	7.1	0.0
	70歳代 (n=60)	70.0	65.0	3.3	33.3	1.7	3.3	6.7	48.3	30.0	5.0	6.7	3.3	3.3
	80歳代以上 (n=20)	75.0	55.0	0.0	35.0	0.0	5.0	0.0	45.0	30.0	0.0	10.0	15.0	5.0

## 【地区別】

地区別にみると、鳥羽地区、長岡地区では「買い物が不便である」、安楽島地区では「交通の便が悪い」、加茂地区では「医療や福祉環境が充実していない」、鏡浦地区、離島地区では「交通の便が悪い」「買い物が不便である」がそれぞれ最も高くなっています。

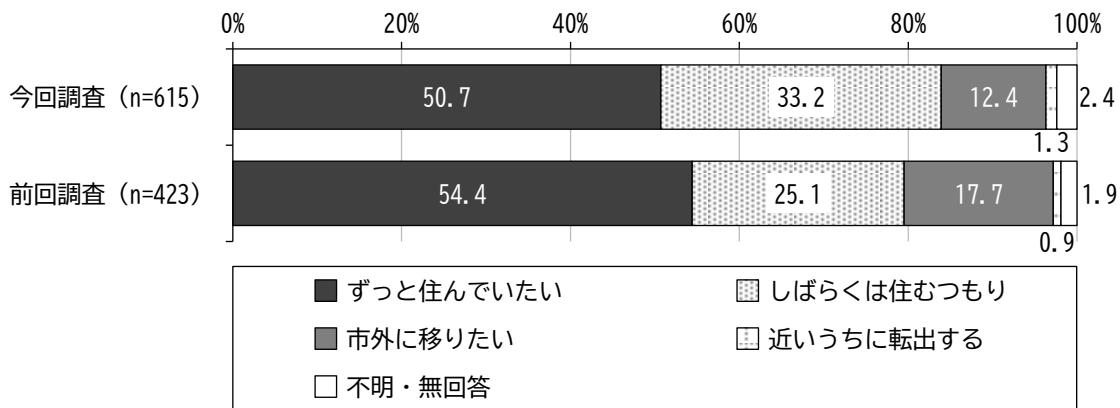
単位：%	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	き災害に対する不安が大	き犯罪に対する不安が大	緑や自然環境が少ない	間近所づかきよいなどの人	して医療や福祉環境が充実	働き口が不足している	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が高い	その他	不明・無回答	
今回調査 (n=215)	63.3	63.7	1.9	34.0	0.9	1.9	6.0	51.2	37.2	7.0	11.2	6.0	1.4	
地区別	鳥羽地区 (n=48)	60.4	72.9	2.1	35.4	2.1	2.1	8.3	58.3	22.9	4.2	10.4	4.2	2.1
	安楽島地区 (n=46)	65.2	45.7	0.0	37.0	0.0	4.3	4.3	52.2	45.7	6.5	13.0	8.7	0.0
	加茂地区 (n=37)	40.5	54.1	0.0	32.4	0.0	0.0	10.8	64.9	54.1	10.8	10.8	10.8	2.7
	長岡地区 (n=14)	64.3	71.4	0.0	42.9	7.1	0.0	7.1	42.9	28.6	7.1	7.1	0.0	0.0
	鏡浦地区 (n=10)	80.0	80.0	0.0	40.0	0.0	0.0	10.0	30.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	離島地区 (n=45)	80.0	80.0	2.2	26.7	0.0	2.2	2.2	44.4	26.7	4.4	8.9	6.7	2.2

### Q3 あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。(1つに○)

#### 【全体】

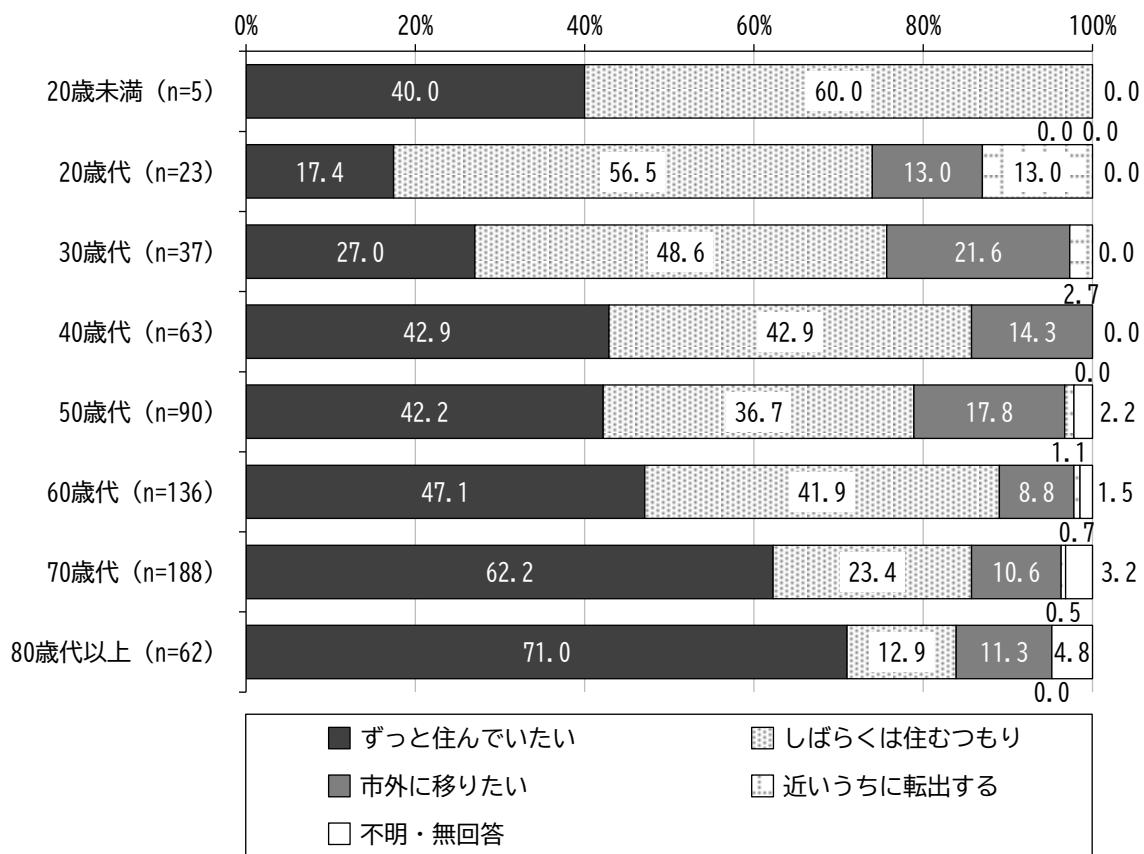
居住意向についてみると、「ずっと住んでいたい」が 50.7%と最も高く、次いで「しばらくは住むつもり」が 33.2%、「市外に移りたい」が 12.4%となっています。

前回調査と比較すると、「しばらくは住むつもり」が 8.1 ポイント増加し、「市外に移りたい」が 5.3 ポイント減少しています。



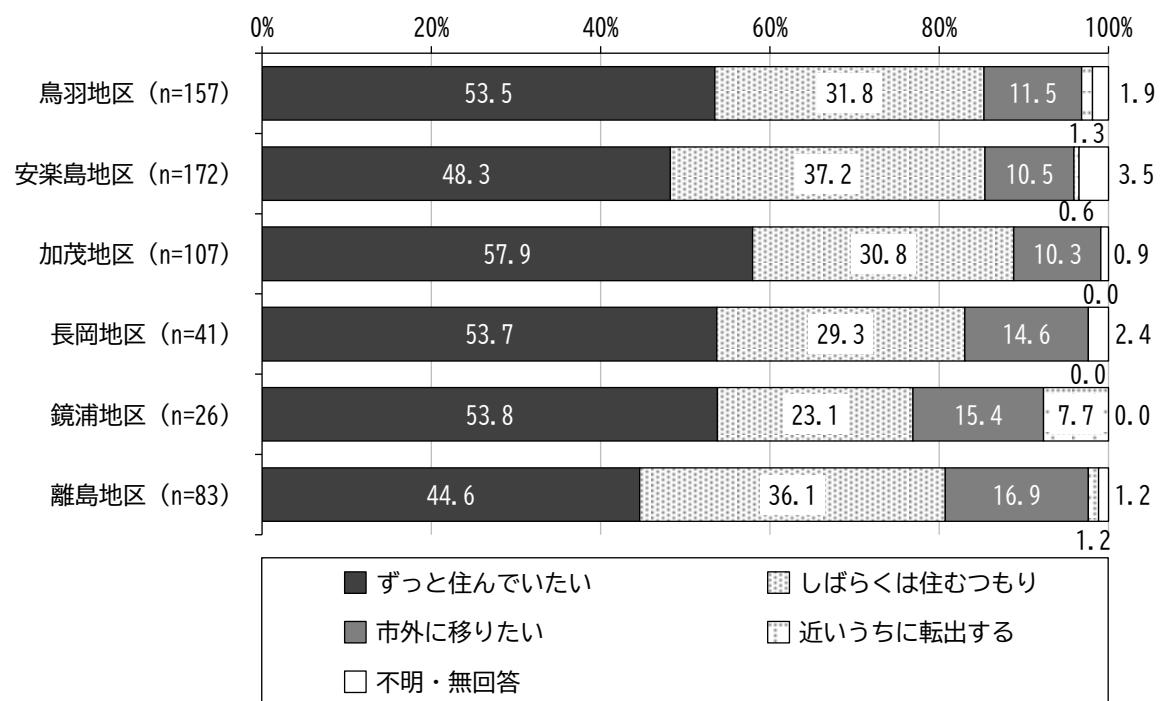
#### 【年代別】

年代別にみると、20 歳代、30 歳代では「しばらくは住むつもり」、40 歳代では「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもり」、その他の年代では「ずっと住んでいたい」がそれぞれ最も高くなっています。



## 【地区別】

地区別にみると、いずれの地区も「ずっと住んでいたい」が最も高くなっています。



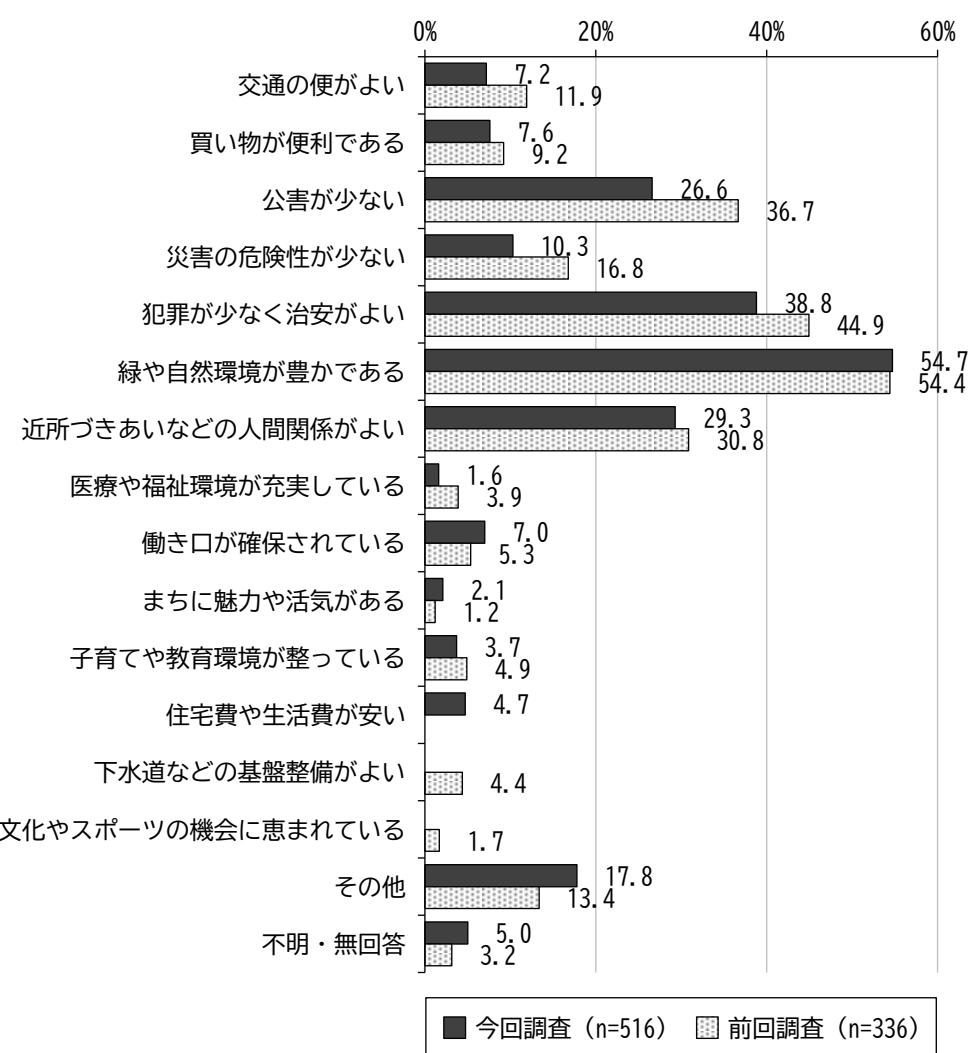
Q3で「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもり」を選んだ方のみ

Q3-1 それはどういった理由からですか。(主なもの3つまで○)

### 【全体】

「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもり」を選んだ理由についてみると、「緑や自然環境が豊かである」が 54.7%と最も高く、次いで「犯罪が少なく治安がよい」が 38.8%、「近所づきあいなどの人間関係がよい」が 29.3%となっています。

前回調査と比較すると、「公害が少ない」が 10.1 ポイント、「災害の危険性が少ない」が 6.5 ポイントそれぞれ減少しています。



※選択肢「犯罪が少なく治安がよい」「子育てや教育環境が整っている」は前回調査では「犯罪が少なく風紀が良い」「教育など子どもを育てる環境が良い」。

※選択肢「下水道などの基盤整備がよい」「文化やスポーツの機会に恵まれている」は前回調査のみの選択肢（今回調査なし）。

※選択肢「住宅費や生活費が安い」は新規選択肢（前回調査なし）。

## 【年代別】

年代別にみると、いずれの年代も「緑や自然環境が豊かである」が最も高くなっています。

単位：%		交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	災害の危険性が少ない	い犯罪が少なく治安がよ	ある緑や自然環境が豊かで	間近所づきがいいなどの人	して医療や福祉環境が充実	る働き口が確保されてい	るまちに魅力や活気があ	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が安い	その他	不明・無回答
今回調査 (n=516)		7.2	7.6	26.6	10.3	38.8	54.7	29.3	1.6	7.0	2.1	3.7	4.7	17.8	5.0
年代別	20歳未満 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=17)	0.0	0.0	17.6	5.9	35.3	47.1	35.3	0.0	23.5	0.0	5.9	23.5	11.8	0.0
	30歳代 (n=28)	7.1	3.6	10.7	0.0	17.9	46.4	21.4	3.6	10.7	10.7	17.9	7.1	14.3	0.0
	40歳代 (n=54)	1.9	1.9	14.8	3.7	29.6	48.1	29.6	1.9	18.5	3.7	9.3	1.9	33.3	5.6
	50歳代 (n=71)	8.5	7.0	28.2	11.3	33.8	60.6	18.3	0.0	11.3	2.8	5.6	2.8	16.9	5.6
	60歳代 (n=121)	5.0	3.3	25.6	9.1	44.6	53.7	28.9	0.0	5.8	1.7	0.0	6.6	22.3	5.0
	70歳代 (n=161)	9.3	11.2	32.9	14.9	42.2	57.1	32.9	3.1	1.2	1.2	1.9	3.1	14.3	6.2
	80歳代以上 (n=52)	13.5	19.2	32.7	13.5	40.4	53.8	34.6	1.9	1.9	0.0	1.9	1.9	9.6	5.8

## 【地区別】

地区別にみると、離島地区では「犯罪が少なく治安がよい」、他の地区では「緑や自然が豊かである」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	災害の危険性が少ない	い犯罪が少なく治安がよ	ある緑や自然環境が豊かで	間近所づきがいいなどの人	して医療や福祉環境が充実	る働き口が確保されてい	るまちに魅力や活気があ	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が安い	その他	不明・無回答
今回調査 (n=516)		7.2	7.6	26.6	10.3	38.8	54.7	29.3	1.6	7.0	2.1	3.7	4.7	17.8	5.0
地区別	鳥羽地区 (n=134)	11.2	4.5	32.8	6.7	36.6	53.0	23.9	0.7	7.5	0.7	2.2	4.5	14.9	6.0
	安楽島地区 (n=147)	8.2	15.6	25.9	14.3	38.1	56.5	26.5	2.0	8.2	3.4	6.8	4.1	19.7	2.7
	加茂地区 (n=95)	8.4	7.4	28.4	10.5	40.0	57.9	26.3	1.1	4.2	1.1	2.1	5.3	21.1	3.2
	長岡地区 (n=34)	0.0	2.9	17.6	11.8	29.4	58.8	38.2	2.9	8.8	2.9	8.8	5.9	5.9	14.7
	鏡浦地区 (n=20)	0.0	0.0	20.0	10.0	25.0	55.0	35.0	5.0	15.0	0.0	0.0	10.0	15.0	5.0
	離島地区 (n=67)	3.0	1.5	16.4	10.4	53.7	46.3	44.8	1.5	6.0	4.5	1.5	4.5	17.9	6.0

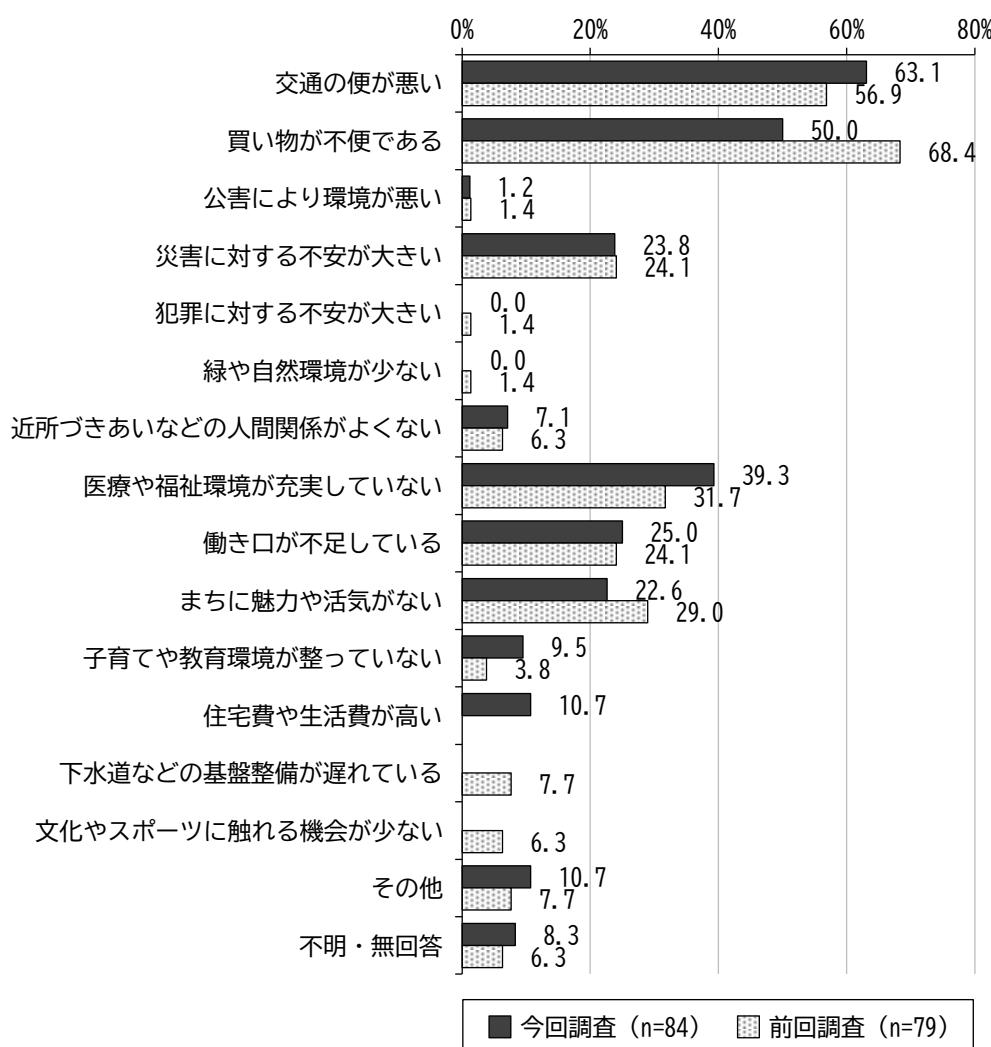
Q3で「市外に移りたい」「近いうちに転出する」を選んだ方のみ

Q3-2 それはどういった理由からですか。(主なもの3つまで○)

### 【全体】

「市外に移りたい」「近いうちに転出する」を選んだ理由についてみると、「交通の便が悪い」が 63.1% と最も高く、次いで「買い物が不便である」が 50.0%、「医療や福祉環境が充実していない」が 39.3% となっています。

前回調査と比較すると、「買い物が不便である」が 18.4 ポイント減少し、「医療や福祉環境が充実していない」が 7.6 ポイント増加しています。



※選択肢「子育てや教育環境が整っていない」は前回調査では「教育など子どもを育てる環境がよくない」。

※選択肢「下水道などの基盤整備が遅れている」「文化やスポーツに触れる機会が少ない」は前回調査のみの選択肢  
(今回調査なし)。

※選択肢「住宅費や生活費が高い」は新規選択肢(前回調査なし)。

## 【年代別】

年代別にみると、50歳代では「交通の便が悪い」「医療や福祉環境が充実していない」、60歳代では「医療や福祉環境が充実していない」、70歳代では「交通の便が悪い」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	間近所づきがよくなっている人	医療や福祉環境が充実している	働き口が不足している	いまちに魅力や活気がな	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が高い	その他	不明・無回答
今回調査 (n=84)		63.1	50.0	1.2	23.8	0.0	0.0	7.1	39.3	25.0	22.6	9.5	10.7	10.7	8.3
年代別	20歳代 (n=6)	83.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0
	30歳代 (n=9)	66.7	66.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1
	40歳代 (n=9)	44.4	33.3	11.1	44.4	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1
	50歳代 (n=17)	47.1	23.5	0.0	11.8	0.0	0.0	17.6	47.1	29.4	23.5	17.6	11.8	11.8	17.6
	60歳代 (n=13)	46.2	30.8	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	53.8	15.4	38.5	7.7	15.4	23.1	15.4
	70歳代 (n=21)	85.7	81.0	0.0	28.6	0.0	0.0	9.5	47.6	23.8	9.5	0.0	9.5	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=7)	85.7	71.4	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0

※20歳未満はn=0のため省略。

## 【地区別】

地区別にみると、加茂地区では「交通の便が悪い」「買い物が不便である」、その他の地区では「交通の便が悪い」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	間近所づきがよくなっている人	医療や福祉環境が充実	働き口が不足している	いまちに魅力や活気がな	整子育てや教育環境が	住宅費や生活費が高い	その他	不明・無回答
今回調査 (n=84)		63.1	50.0	1.2	23.8	0.0	0.0	7.1	39.3	25.0	22.6	9.5	10.7	10.7	8.3
地区別	鳥羽地区 (n=20)	55.0	50.0	0.0	35.0	0.0	0.0	10.0	40.0	20.0	10.0	10.0	5.0	5.0	15.0
	安楽島地区 (n=19)	63.2	36.8	0.0	21.1	0.0	0.0	5.3	47.4	36.8	36.8	5.3	15.8	10.5	5.3
	加茂地区 (n=11)	54.5	54.5	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	45.5	36.4	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1
	長岡地区 (n=6)	83.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7
	鏡浦地区 (n=6)	100.0	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
	離島地区 (n=15)	73.3	60.0	0.0	26.7	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7

### 3. 市政情報の入手について

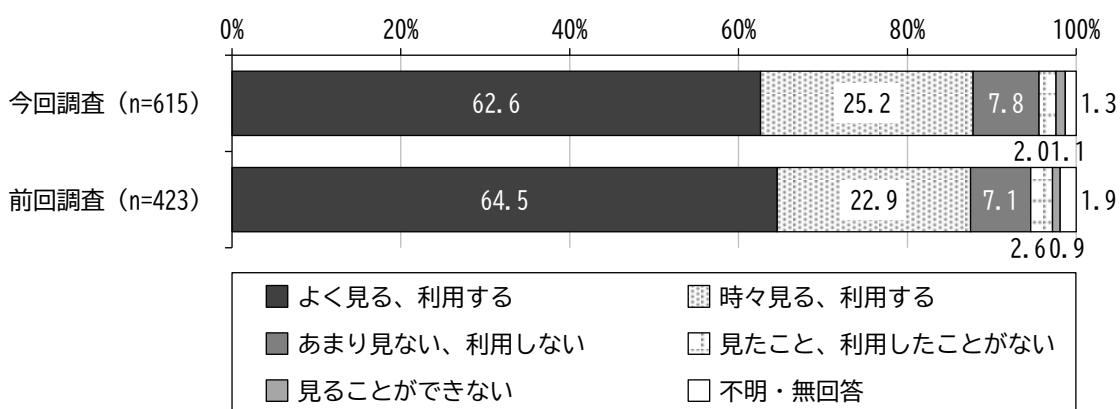
Q4 あなたは鳥羽市の市政情報を入手する手段として、次の①～④それぞれについて、どの手段をどの程度利用されますか。(それぞれ1つに○)

#### ①広報とば

##### 【全体】

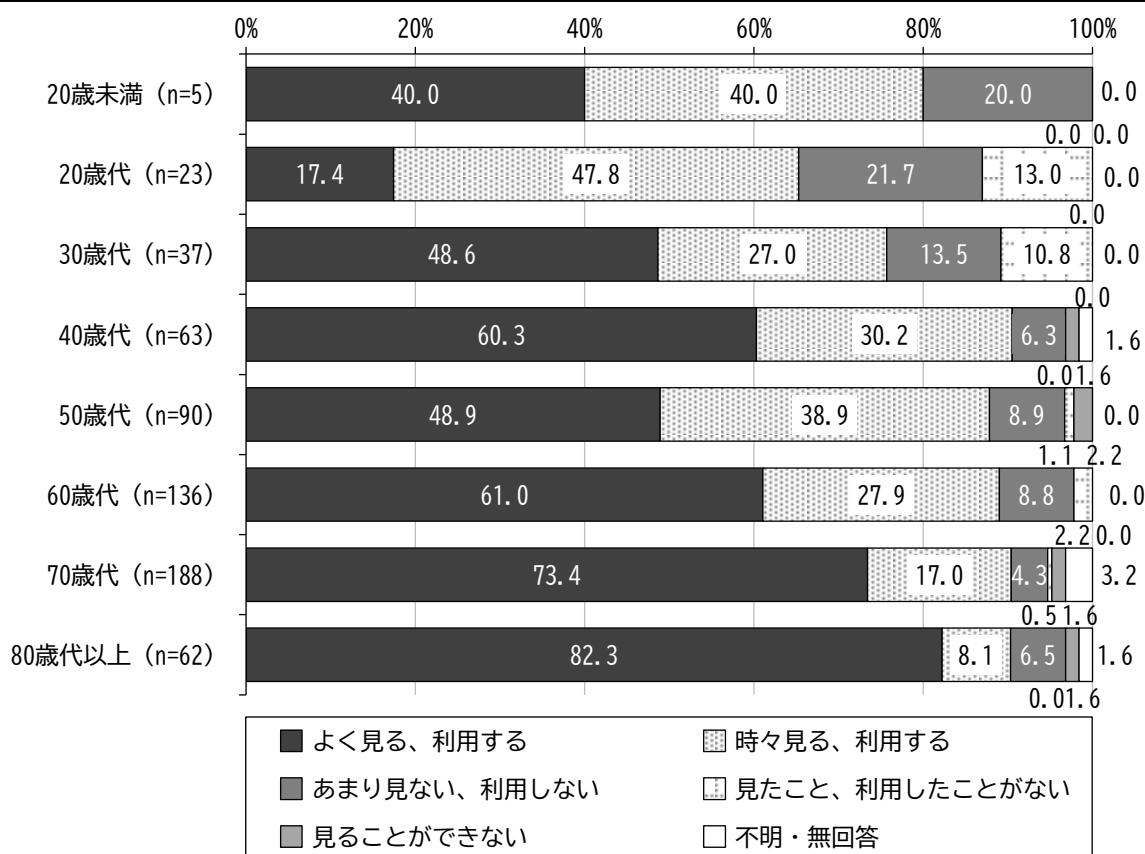
広報とばについてみると、「よく見る、利用する」が 62.6%と最も高く、次いで「時々見る、利用する」が 25.2%、「あまり見ない、利用しない」が 7.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



##### 【年代別】

年代別にみると、20歳代では「時々見る、利用する」、その他の年代では「よく見る、利用する」がそれぞれ最も高くなっています。

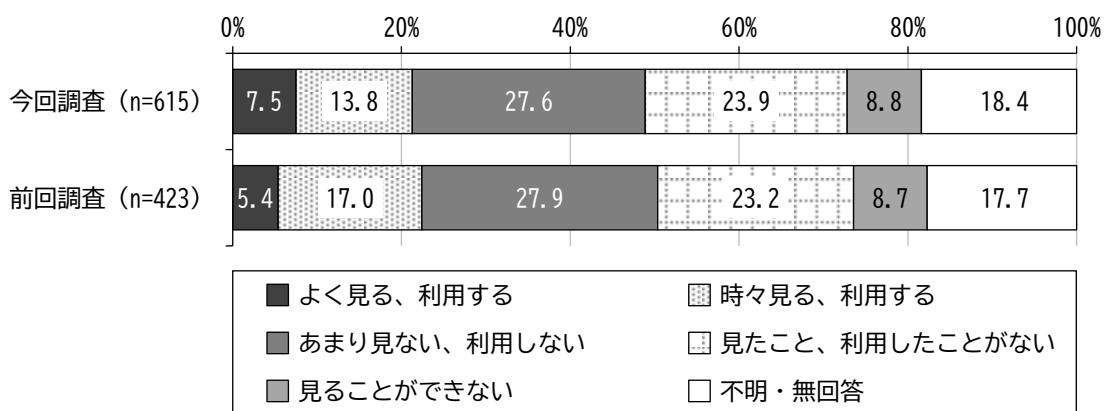


## ②行政放送

### 【全体】

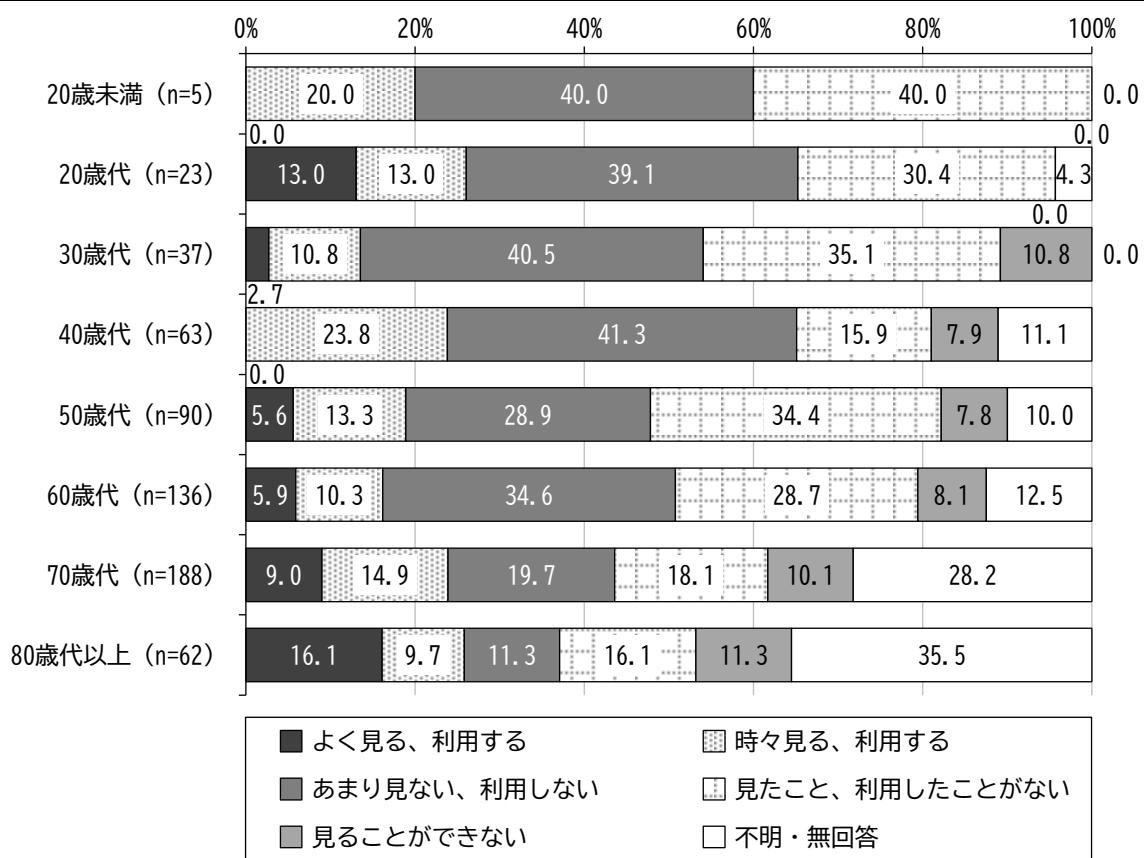
行政放送についてみると、「あまり見ない、利用しない」が27.6%と最も高く、次いで「見たこと、利用したことがない」が23.9%、「時々見る、利用する」が13.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



### 【年代別】

年代別にみると、50歳代では「見たこと、利用したことがない」、80歳代以上では「よく見る、利用する」「見たこと、利用したことがない」、その他の年代では「あまり見ない、利用しない」がそれぞれ最も高くなっています。

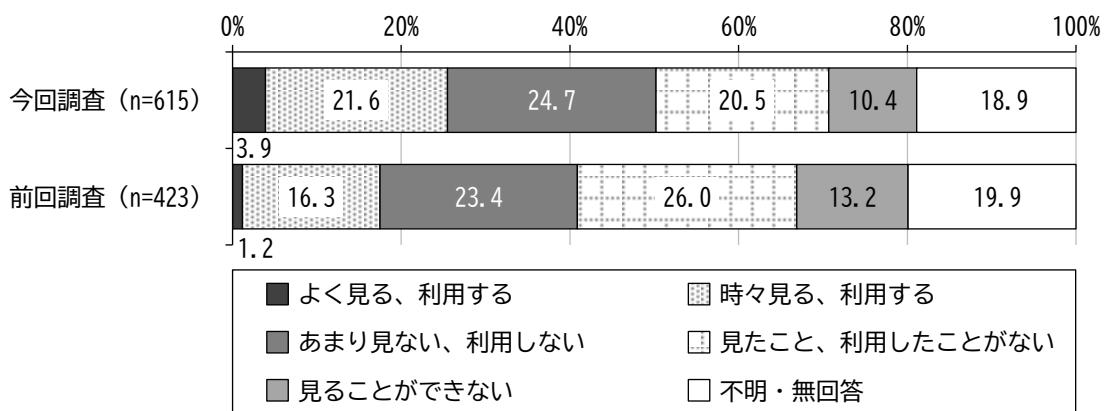


### ③ホームページ

#### 【全体】

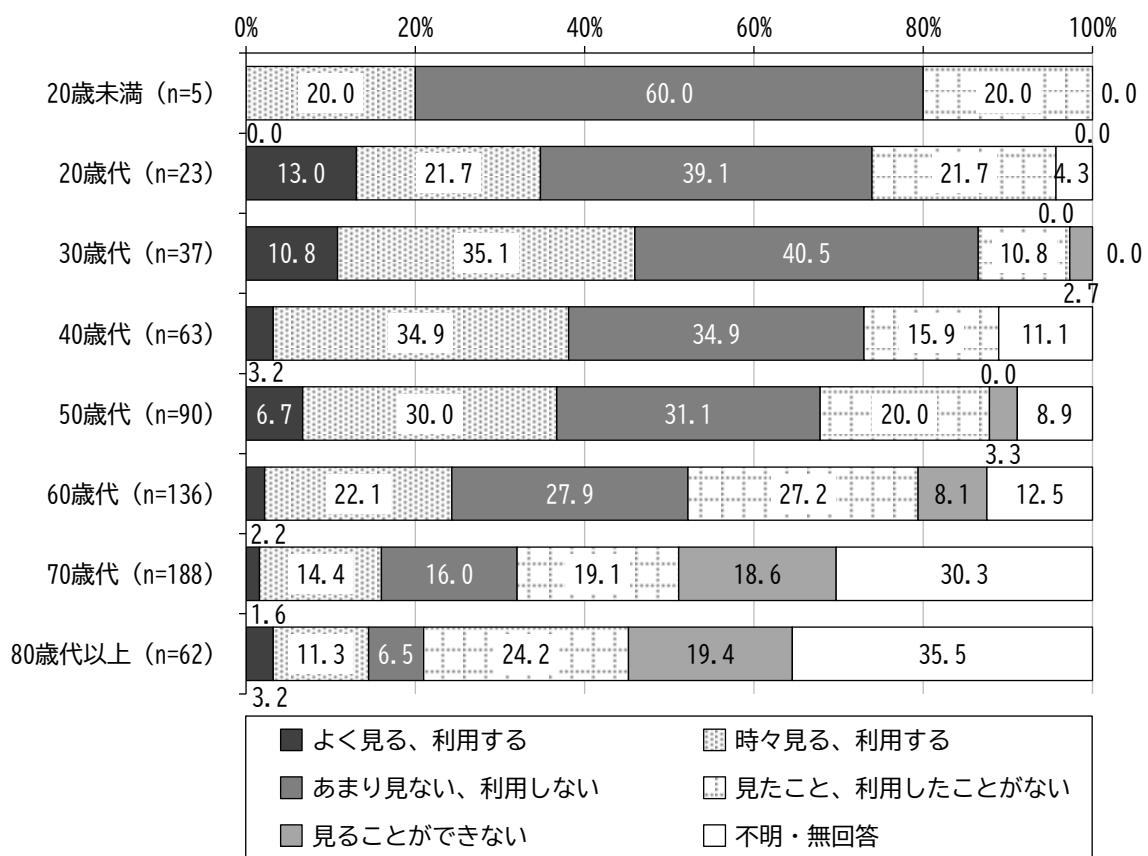
ホームページについてみると、「あまり見ない、利用しない」が 24.7%と最も高く、次いで「時々見る、利用する」が 21.6%、「見たこと、利用したことがない」が 20.5%となっています。

前回調査と比較すると、「見たこと、利用したことがない」が 5.5 ポイント減少し、「時々見る、利用する」が 5.3 ポイント増加しています。



#### 【年代別】

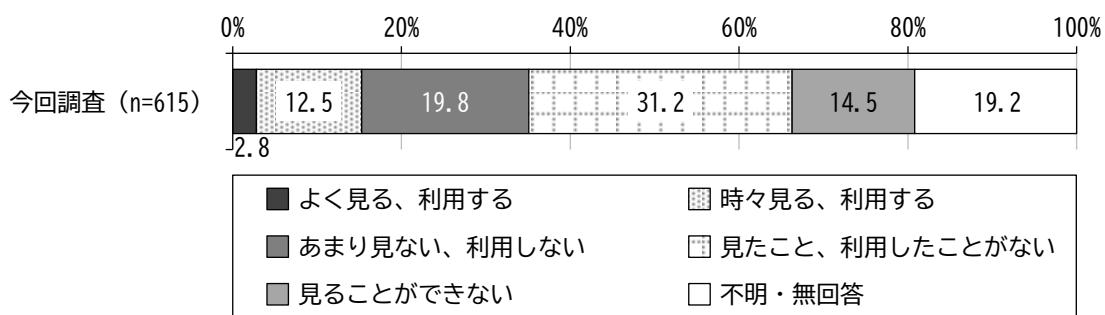
年代別にみると、40 歳代では「時々見る、利用する」「あまり見ない、利用しない」、70 歳代、80 歳代以上では「見たこと、利用したことがない」、その他の年代では「あまり見ない、利用しない」がそれぞれ最も高くなっています。



#### ④公式SNS

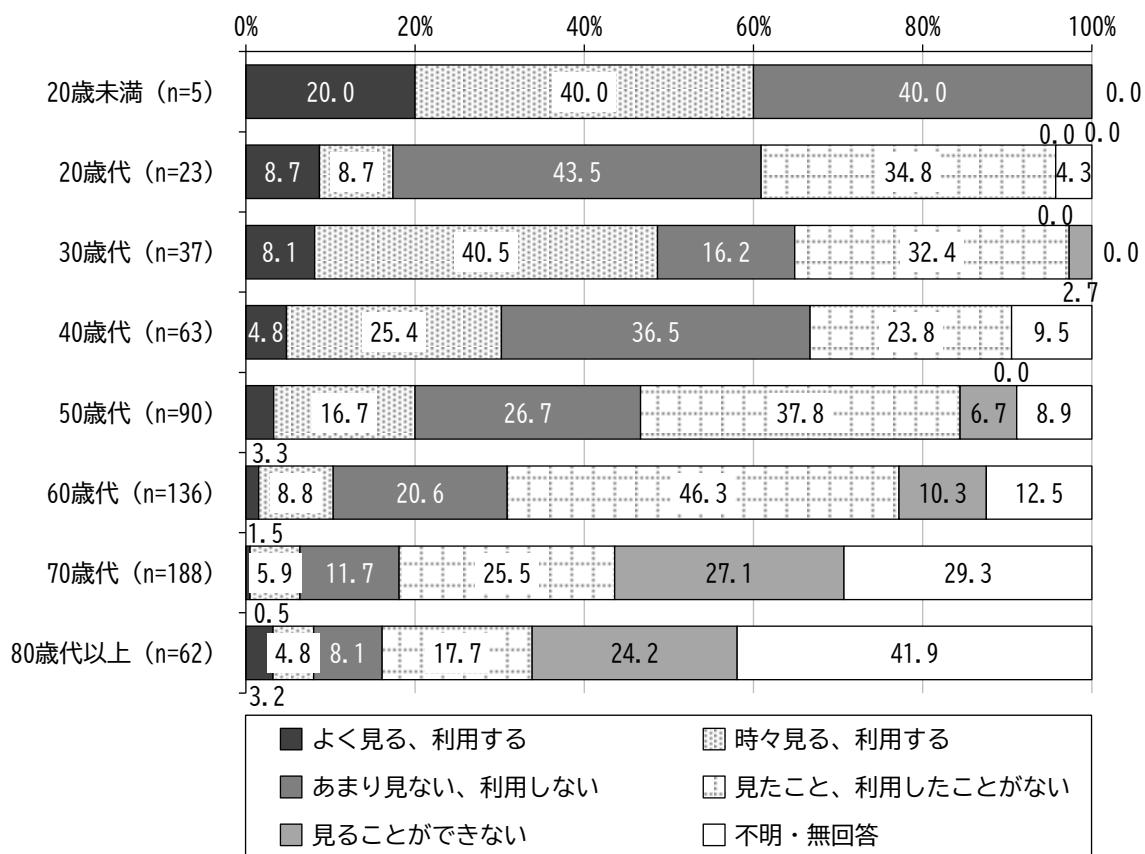
##### 【全体】

公式SNSについてみると、「見たこと、利用したことがない」が31.2%と最も高く、次いで「あまり見ない、利用しない」が19.8%、「見ることができない」が14.5%となっています。



##### 【年代別】

年代別にみると、20歳代、40歳代では「あまり見ない、利用しない」、30歳代では「時々見る、利用する」、50歳代、60歳代では「見たこと、利用したことがない」、70歳代、80歳代以上では「見ることができない」がそれぞれ最も高くなっています。



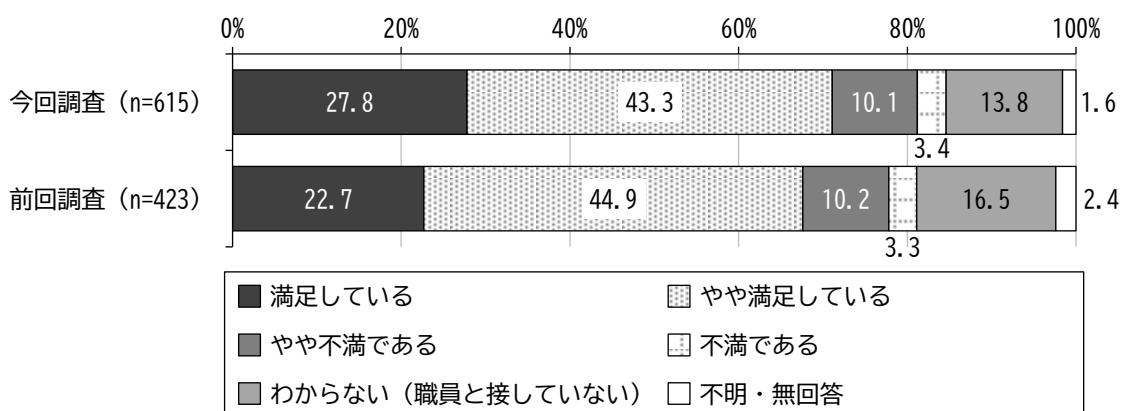
## 4. 市職員への印象について

Q5 あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。(1つに○)  
(来庁時、電話、市役所外の場面で職員と接した際の印象をお聞かせください。)

### 【全体】

市職員への印象についてみると、「やや満足している」が43.3%と最も高く、次いで「満足している」が27.8%、「わからない（職員と接していない）」が13.8%となっています。

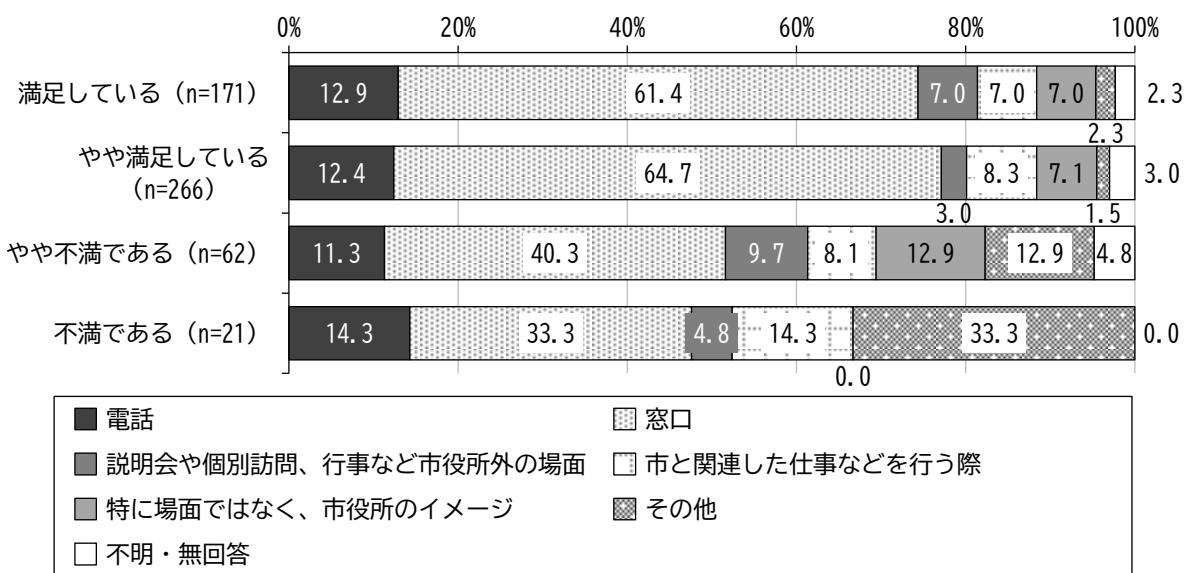
前回調査と比較すると、「満足している」が5.1ポイント増加しています。



Q5-1 それはどのような場面で最もそう感じましたか。(1つに○)

### 【職員の印象別】

職員の印象別にみると、いずれの区分も「窓口」が最も高くなっています。



Q5-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

【場面別】

Q5で「満足している」、「やや満足している」と回答した方のみ

満足した理由について場面別にみると、〔電話〕では「説明のわかりやすさ」、その他の場面では「親身な応対や気づかい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		時仕 間事 のス ピード や待 ち	正 確 な 仕 事 の 進 め 方	説 明 の わ か り や す さ	り通 や知 す文 等 の 文 章 の わ か	親 身 な 応 対 や 気 づ か い	基 本 だ し な マ ニ や ー 挨 拶 等 の	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
今回調査 (n=437)		19.2	15.1	39.8	5.7	56.3	15.1	3.7	5.0
場 面 別	電話 (n=55)	12.7	7.3	58.2	1.8	50.9	3.6	3.6	3.6
	窓口 (n=277)	23.1	17.3	43.0	5.8	57.4	15.9	2.9	1.4
	説明会や個別訪問、行事など市役所外の場面 (n=20)	5.0	20.0	30.0	10.0	70.0	30.0	5.0	10.0
	市と関連した仕事などを行う際 (n=34)	20.6	20.6	23.5	11.8	70.6	14.7	0.0	0.0
	特に場面ではなく、市役所のイメージ (n=31)	3.2	3.2	6.5	6.5	38.7	25.8	12.9	25.8

Q5で「やや不満である」、「不満である」と回答した方のみ

不満であった理由について場面別にみると、〔電話〕、〔窓口〕では「仕事のスピードや待ち時間」が最も高くなっています。

単位：%		時仕 間事 のス ピード や待 ち	正 確 な 仕 事 の 進 め 方	説 明 の わ か り や す さ	り通 や知 す文 等 の 文 章 の わ か	親 身 な 応 対 や 気 づ か い	基 本 だ し な マ ニ や ー 挨 拶 等 の	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
今回調査 (n=83)		32.5	20.5	20.5	9.6	32.5	15.7	25.3	10.8
場 面 別	電話 (n=10)	50.0	30.0	40.0	10.0	30.0	0.0	20.0	0.0
	窓口 (n=32)	53.1	18.8	18.8	3.1	40.6	21.9	25.0	0.0
	説明会や個別訪問、行事など市役所外の場面 (n=7)	28.6	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
	市と関連した仕事などを行う際 (n=8)	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	62.5	0.0
	特に場面ではなく、市役所のイメージ (n=8)	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5

## 5. 市政に対する満足度・重要度について

Q6 施策の満足度・重要度ともに5段階で評価してください。(それぞれ1つに○)

### 【満足度】

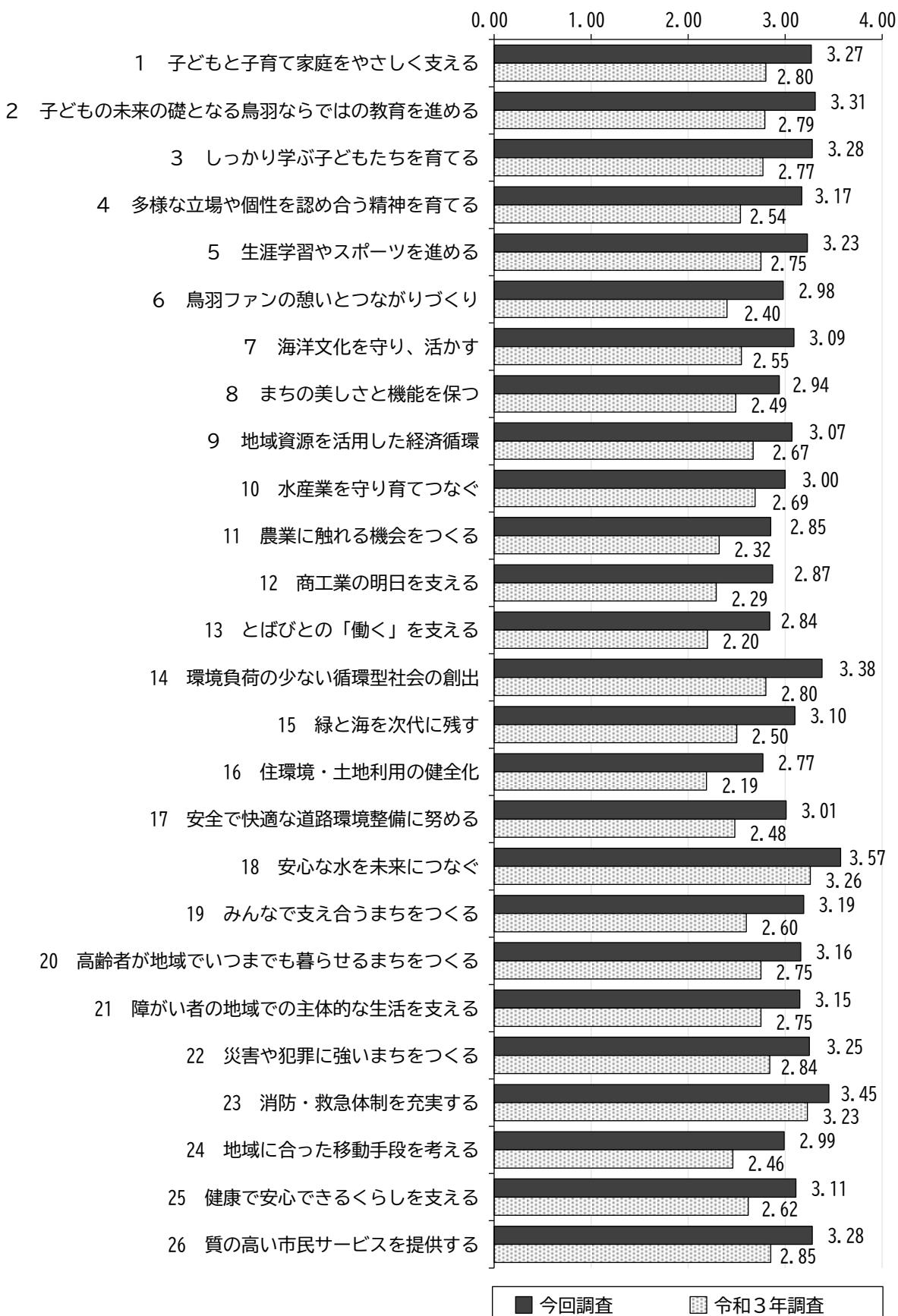
満足度について、上位の項目をみると、[18 安心な水を未来につなぐ] が 3.57、[23 消防・救急体制を充実する] が 3.45、[14 環境負荷の少ない循環型社会の創出] が 3.38 となっています。

下位の項目をみると、[16 住環境・土地利用の健全化] が 2.77、[13 とばびとの「働く」を支える] が 2.84、[11 農業に触れる機会をつくる] が 2.85 となっています。

施策目標	満足度		
	令和3年 調査	今回調査	差
1 子どもと子育て家庭をやさしく支える	2.80	3.27	0.47
2 子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める	2.79	3.31	0.52
3 しっかり学ぶ子どもたちを育てる	2.77	3.28	0.51
4 多様な立場や個性を認め合う精神を育てる	2.54	3.17	0.63
5 生涯学習やスポーツを進める	2.75	3.23	0.48
6 鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	2.40	2.98	0.58
7 海洋文化を守り、活かす	2.55	3.09	0.54
8 まちの美しさと機能を保つ	2.49	2.94	0.45
9 地域資源を活用した経済循環	2.67	3.07	0.40
10 水産業を守り育てつなぐ	2.69	3.00	0.31
11 農業に触れる機会をつくる	2.32	2.85	0.53
12 商工業の明日を支える	2.29	2.87	0.58
13 とばびとの「働く」を支える	2.20	2.84	0.64
14 環境負荷の少ない循環型社会の創出	2.80	3.38	0.58
15 緑と海を次代に残す	2.50	3.10	0.60
16 住環境・土地利用の健全化	2.19	2.77	0.58
17 安全で快適な道路環境整備に努める	2.48	3.01	0.53
18 安心な水を未来につなぐ	3.26	3.57	0.31
19 みんなで支え合うまちをつくる	2.60	3.19	0.59
20 高齢者が地域でいつまでも暮らせるまちをつくる	2.75	3.16	0.41
21 障がい者の地域での主体的な生活を支える	2.75	3.15	0.40
22 災害や犯罪に強いまちをつくる	2.84	3.25	0.41
23 消防・救急体制を充実する	3.23	3.45	0.22
24 地域に合った移動手段を考える	2.46	2.99	0.53
25 健康で安心できるくらしを支える	2.62	3.11	0.49
26 質の高い市民サービスを提供する	2.85	3.28	0.43

◎満足度 = (「満足している」の回答者数×5点 + 「やや満足している」の回答者数×4点 + 「どちらともいえない」の回答者数×3点 + 「やや不満である」の回答者数×2点 + 「不満である」の回答者数×1点) ÷ (「満足している」「やや満足している」「どちらともいえない」「やや不満である」「不満である」の各回答者数合計)

\*満足度・重要度は令和3年調査と比較



※満足度・重要度は令和3年調査と比較

## 【重要度】

重要度について、上位の項目をみると、〔18 安心な水を未来につなぐ〕が 4.32、〔23 消防・救急体制を充実する〕が 4.30、〔22 災害や犯罪に強いまちを作る〕が 4.27 となっています。

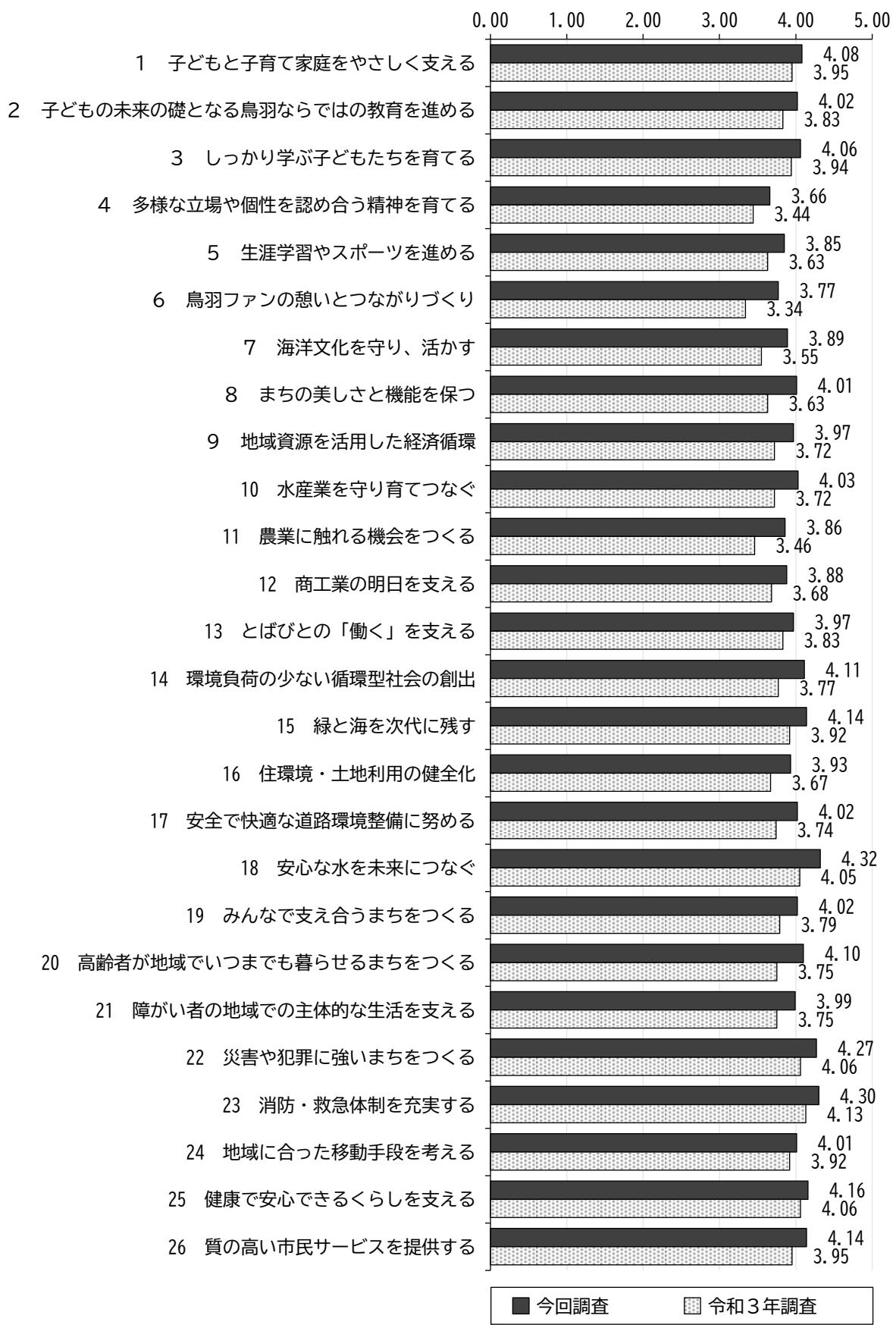
下位の項目をみると、〔4 多様な立場や個性を認め合う精神を育てる〕が 3.66、〔6 鳥羽ファンの憩いとつながりづくり〕が 3.77、〔5 生涯学習やスポーツを進める〕が 3.85 となっています。

施策目標	重要度		
	令和3年 調査	今回調査	差
1 子どもと子育て家庭をやさしく支える	3.95	4.08	0.13
2 子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める	3.83	4.02	0.19
3 しっかり学ぶ子どもたちを育てる	3.94	4.06	0.12
4 多様な立場や個性を認め合う精神を育てる	3.44	3.66	0.22
5 生涯学習やスポーツを進める	3.63	3.85	0.22
6 鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	3.34	3.77	0.43
7 海洋文化を守り、活かす	3.55	3.89	0.34
8 まちの美しさと機能を保つ	3.63	4.01	0.38
9 地域資源を活用した経済循環	3.72	3.97	0.25
10 水産業を守り育てつなぐ	3.72	4.03	0.31
11 農業に触れる機会をつくる	3.46	3.86	0.40
12 商工業の明日を支える	3.68	3.88	0.20
13 とばびとの「働く」を支える	3.83	3.97	0.14
14 環境負荷の少ない循環型社会の創出	3.77	4.11	0.34
15 緑と海を次代に残す	3.92	4.14	0.22
16 住環境・土地利用の健全化	3.67	3.93	0.26
17 安全で快適な道路環境整備に努める	3.74	4.02	0.28
18 安心な水を未来につなぐ	4.05	4.32	0.27
19 みんなで支え合うまちをつくる	3.79	4.02	0.23
20 高齢者が地域でいつまでも暮らせるまちをつくる	3.75	4.10	0.35
21 障がい者の地域での主体的な生活を支える	3.75	3.99	0.24
22 災害や犯罪に強いまちをつくる	4.06	4.27	0.21
23 消防・救急体制を充実する	4.13	4.30	0.17
24 地域に合った移動手段を考える	3.92	4.01	0.09
25 健康で安心できるくらしを支える	4.06	4.16	0.10
26 質の高い市民サービスを提供する	3.95	4.14	0.19

◎重要度 = (「重要である」の回答者数×5点 + 「やや重要である」の回答者数×4点 + 「どちらともいえない」の回答者数×3点 + 「あまり重要でない」の回答者数×2点 + 「重要でない」の回答者数×1点)

÷ (「重要である」「やや重要である」「どちらともいえない」「あまり重要でない」「重要でない」の各回答者数合計)

※満足度・重要度は令和3年調査と比較

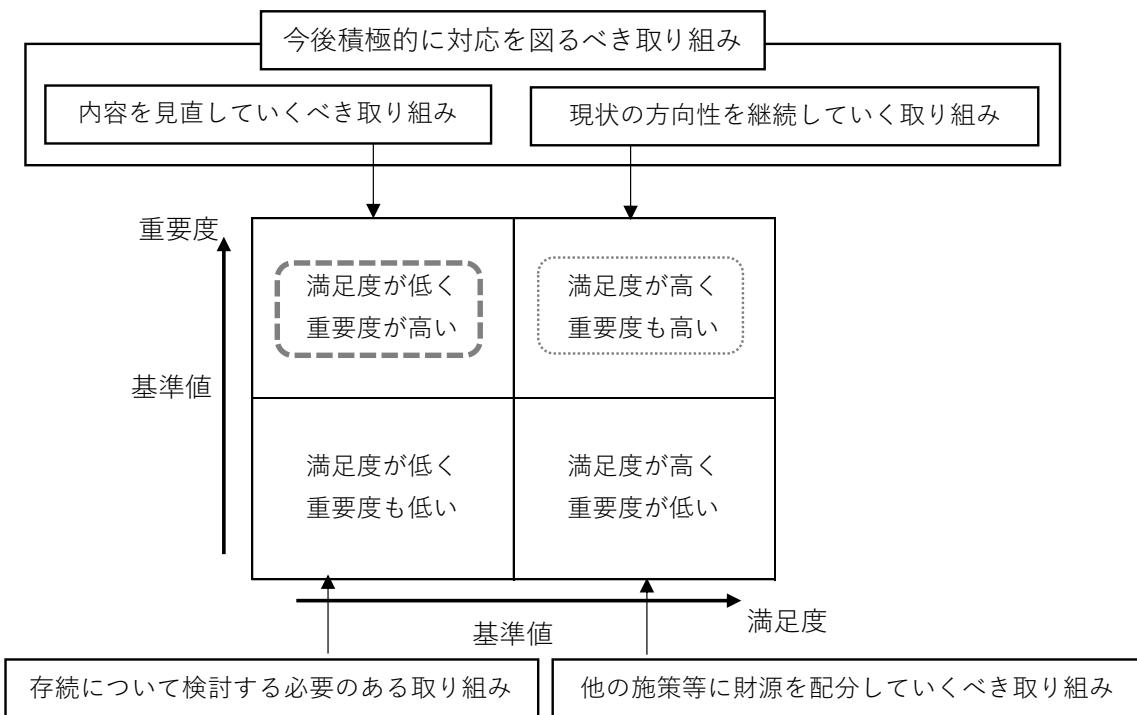


※満足度・重要度は令和3年調査と比較

## ◆満足度と重要度の関係

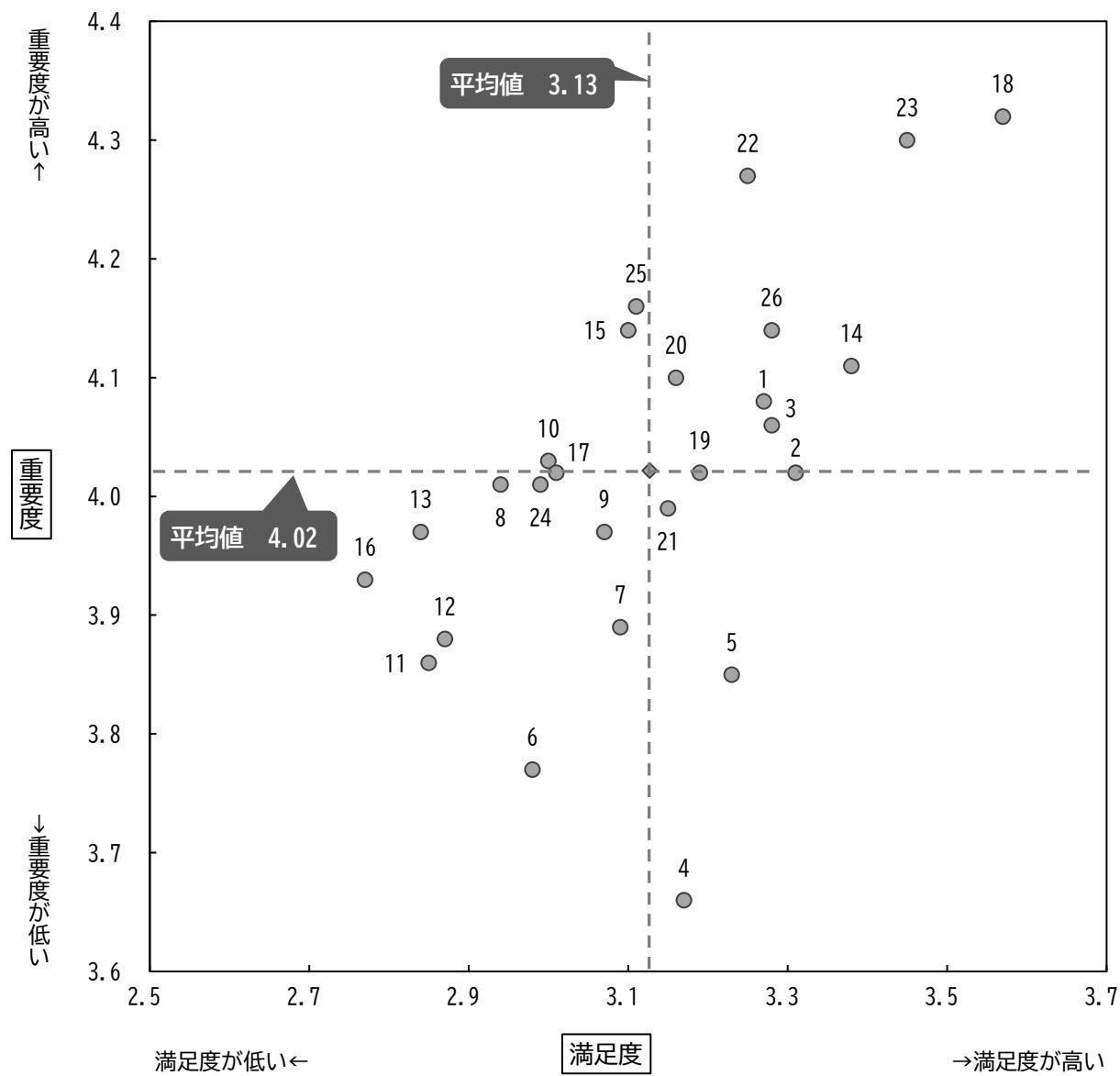
### 【今後積極的に対応を図るべき取り組み】

今後積極的に対応を図るべき取り組みは、満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取り組み」と、満足度が高く、重要度も高い「現状の方向性を継続していく取り組み」の二つの象限に該当する取り組みであると考えられます。



満足度が高く、重要度も高い施策では、[18 安心な水を未来につなぐ] [23 消防・救急体制を充実する] [22 災害や犯罪に強いまちを作る]などの項目が挙がっています。

一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、[25 健康で安心できるくらしを支える] [15 緑と海を次代に残す] [10 水産業を守り育てつなぐ]などの項目が挙がっています。



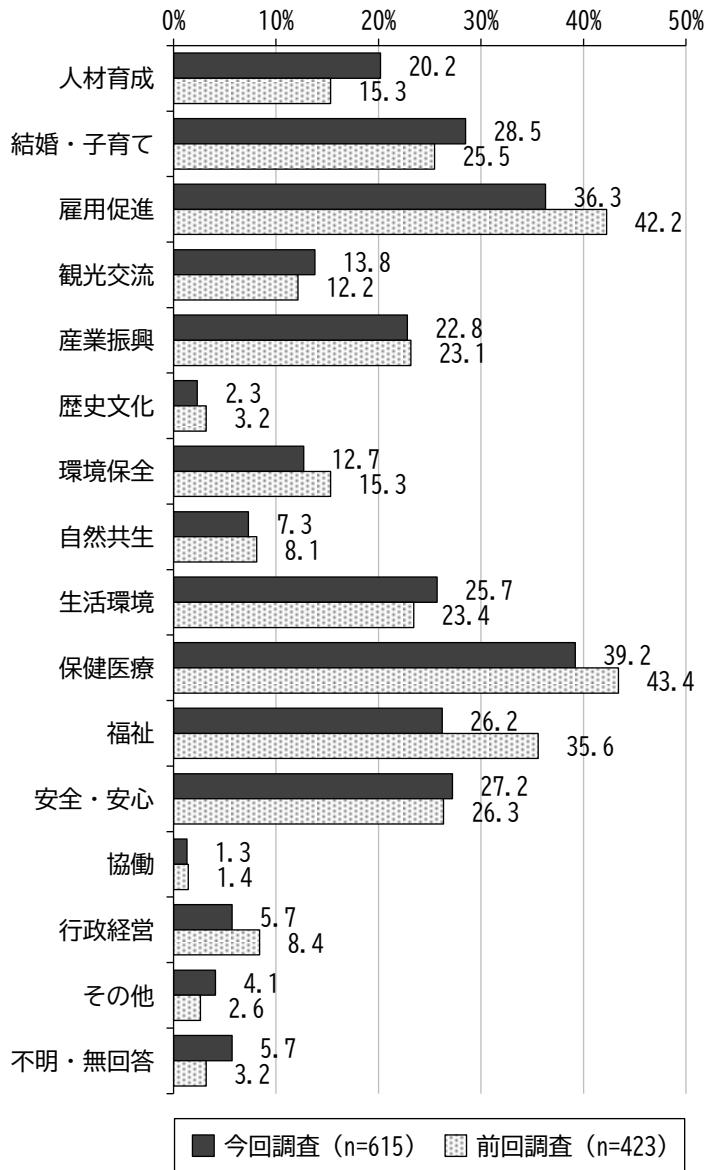
#### ◆凡例

1. 子どもと子育て家庭をやさしく支える	14. 環境負荷の少ない循環型社会の創出
2. 子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める	15. 緑と海を次代に残す
3. しっかり学ぶ子どもたちを育てる	16. 住環境・土地利用の健全化
4. 多様な立場や個性を認め合う精神を育てる	17. 安全で快適な道路環境整備に努める
5. 生涯学習やスポーツを進める	18. 安心な水を未来につなぐ
6. 鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	19. みんなで支え合うまちをつくる
7. 海洋文化を守り、活かす	20. 高齢者が地域でいつまでも暮らせるまちをつくる
8. まちの美しさと機能を保つ	21. 障がい者の地域での主体的な生活を支える
9. 地域資源を活用した経済循環	22. 災害や犯罪に強いまちをつくる
10. 水産業を守り育てつなぐ	23. 消防・救急体制を充実する
11. 農業に触れる機会をつくる	24. 地域に合った移動手段を考える
12. 商工業の明日を支える	25. 健康で安心できるくらしを支える
13. とばびとの「働く」を支える	26. 質の高い市民サービスを提供する

Q7 次の分野別政策目標のうち、今後のまちづくりの中で特に力を入れるべき分野は何ですか。(主なもの3つまで○)

まちづくりで特に力を入れるべき分野についてみると、「保健医療」が39.2%と最も高く、次いで「雇用促進」が36.3%、「結婚・子育て」が28.5%となっています。

前回調査と比較すると、「福祉」が9.4ポイント、「雇用促進」が5.9ポイントそれぞれ減少しています。

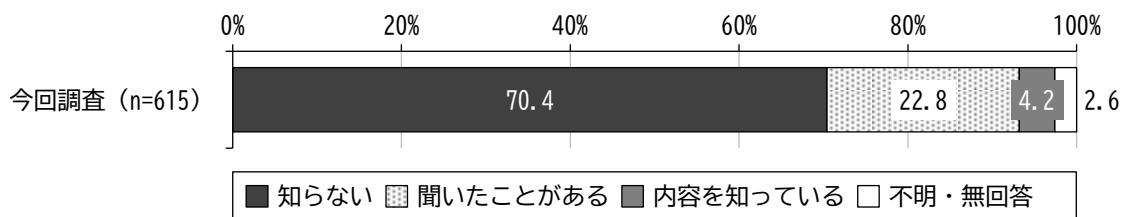


## 6. 2040年に向けたまちづくりについて

Q8 鳥羽市が進める2040年に向けた「地域共生社会」づくりについてどの程度ご存じですか。(1つに○)

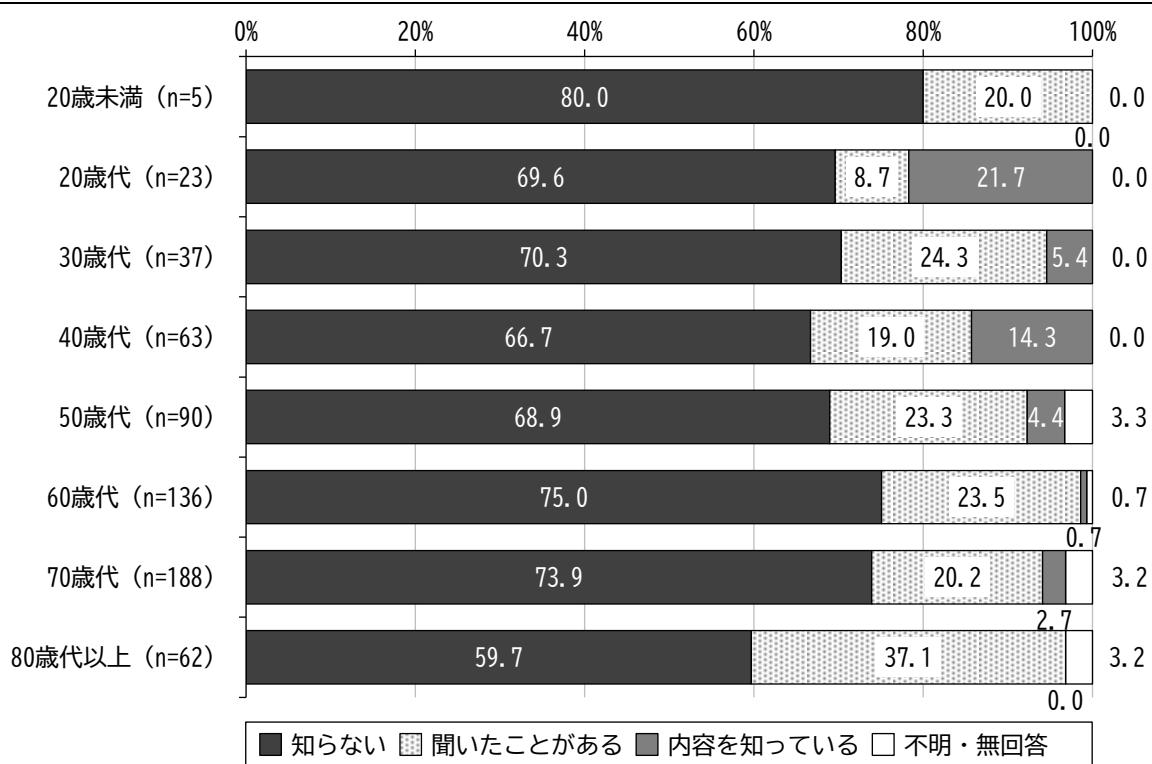
### 【全体】

鳥羽市が進める2040年に向けた「地域共生社会」づくりの認知度についてみると、「知らない」が70.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が22.8%、「内容を知っている」が4.2%となっています。



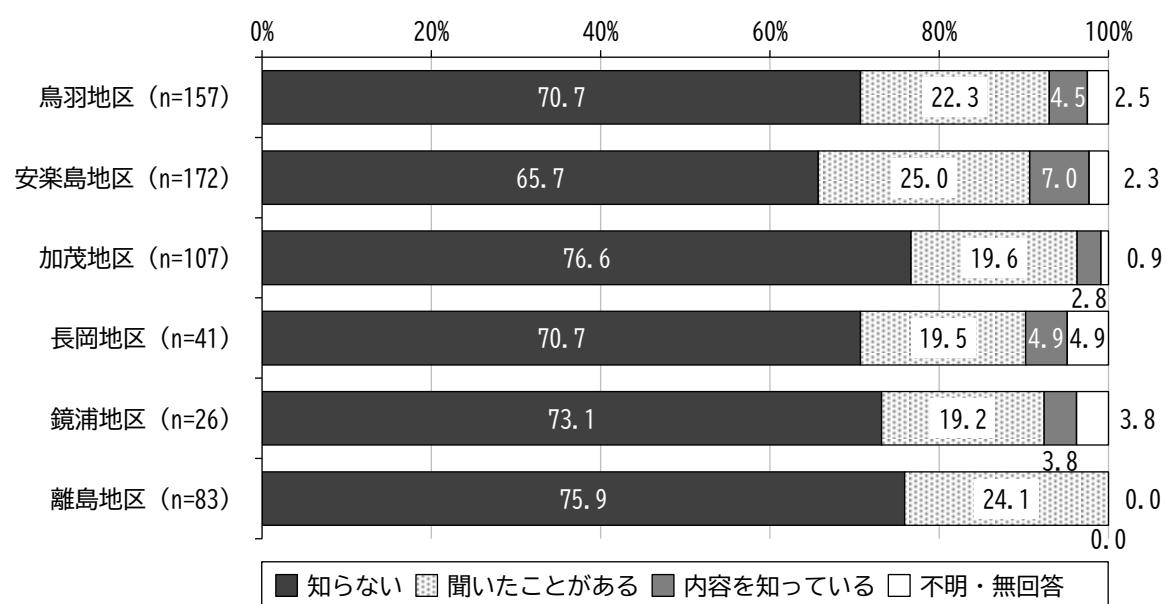
### 【年代別】

年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が最も高くなっています。



## 【地区別】

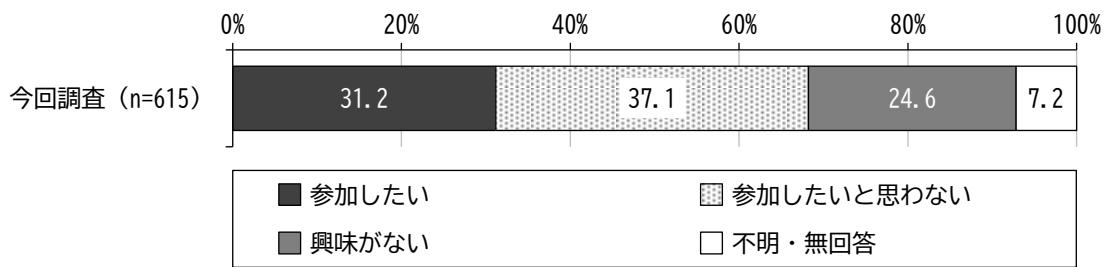
地区別にみると、いずれの地区も「知らない」が最も高くなっています。



## Q9 「地域共生社会」づくりに参加したいと思いますか。(1つに○)

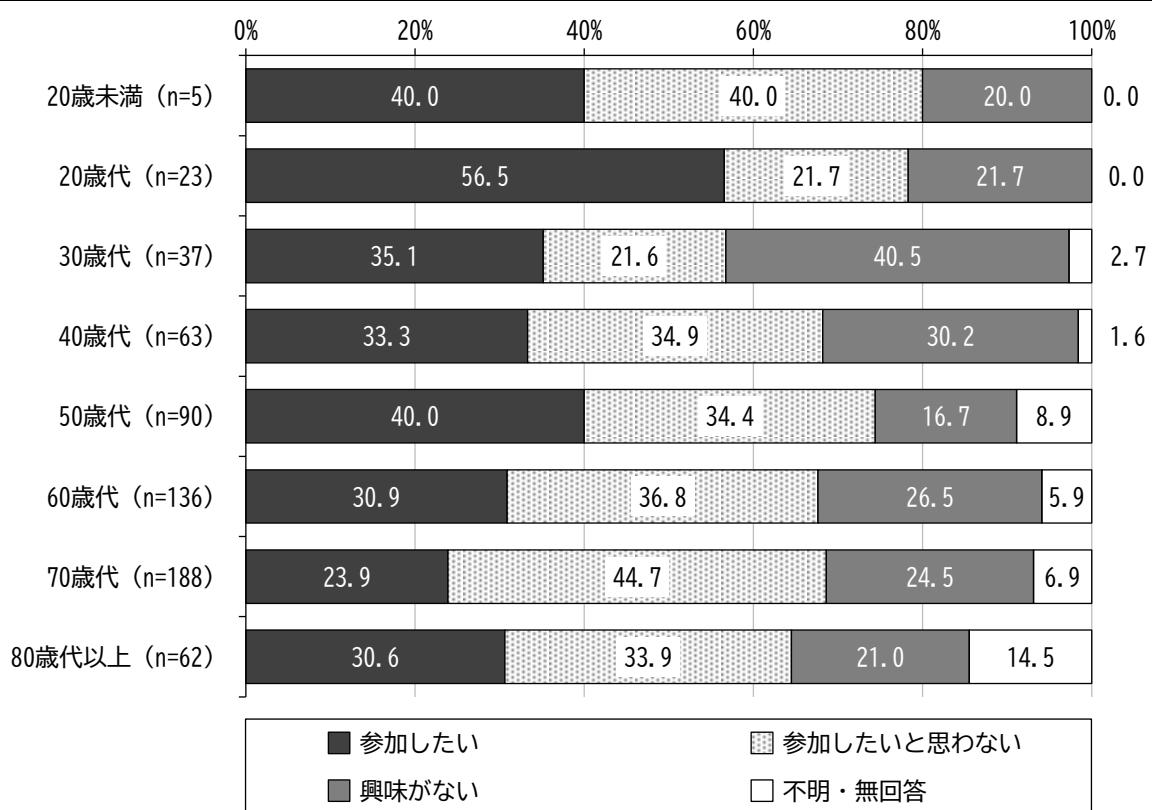
### 【全体】

「地域共生社会」づくりへの参加意向についてみると、「参加したいと思わない」が 37.1%と最も高く、次いで「参加したい」が 31.2%、「興味がない」が 24.6%となっています。



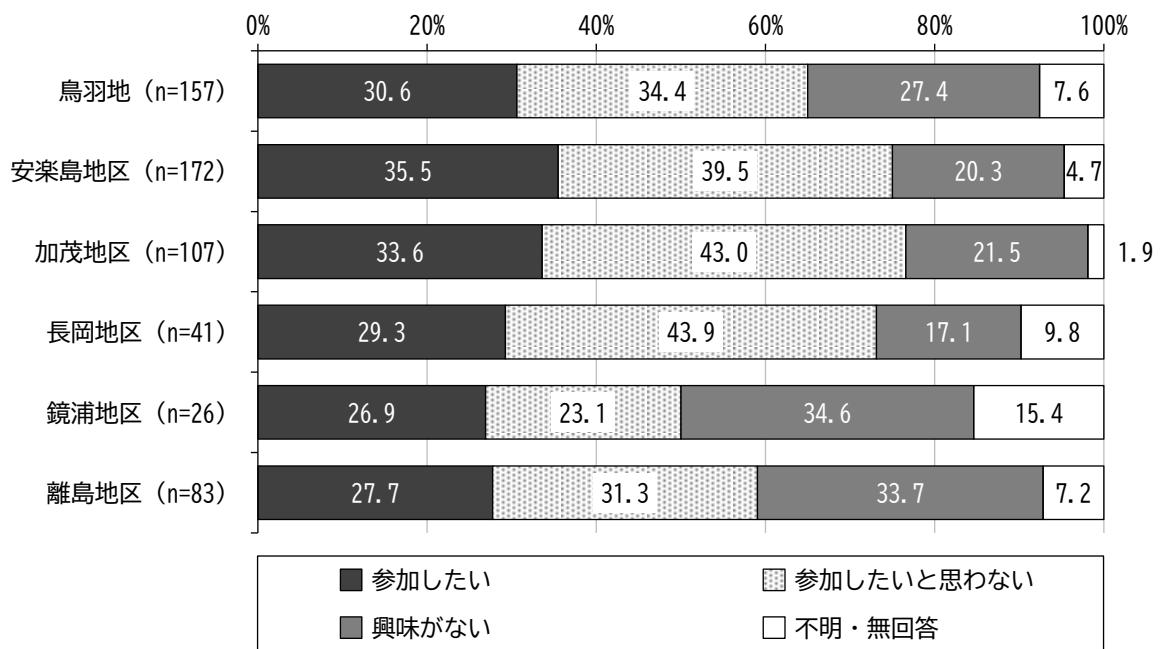
### 【年代別】

年代別にみると、20歳代、50歳代では「参加したい」、30歳代では「興味がない」、その他の年代では「参加したいと思わない」がそれぞれ最も高くなっています。



## 【地区別】

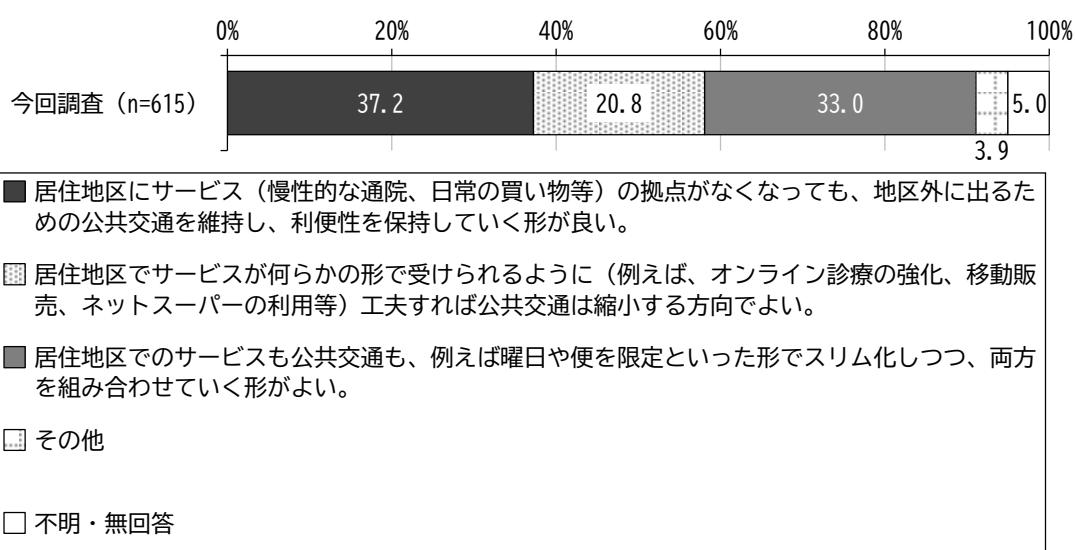
地区別にみると、鏡浦地区、離島地区では「興味がない」、その他の地区では「参加したいと思わない」がそれぞれ最も高くなっています。



Q10 本市では人口3万人時代に整備した施設等が老朽化してきています。現役世代が大きく減少し、市税も減っていく中で、公共サービスすべてを維持していくことは難しい面があります。2040年に向けて、お住まいの地区でのサービスと公共交通について、これからどの方向で進めていくのがよいとお考えですか。(1つに○)

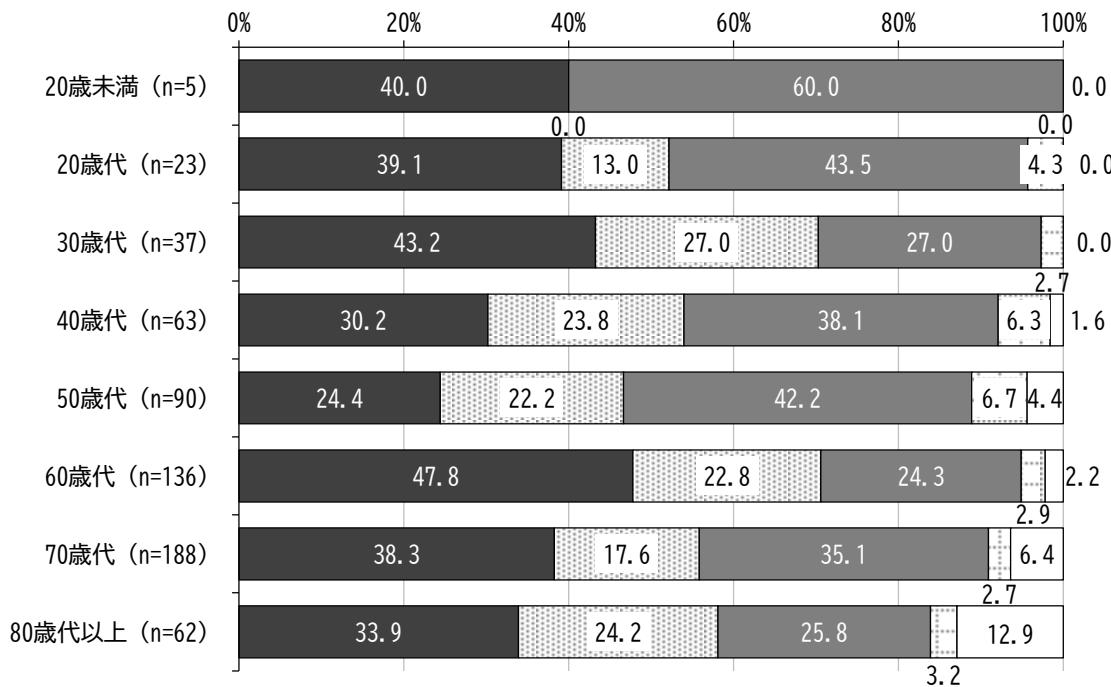
### 【全体】

居住地域でのサービスと公共交通の方向性についてみると、「居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっても、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形が良い。」が37.2%と最も高く、次いで「居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい。」が33.0%、「居住地区でサービスが何らかの形で受けられるように（例えば、オンライン診療の強化、移動販売、ネットスーパーの利用等）工夫すれば公共交通は縮小する方向でよい。」が20.8%となっています。



## 【年代別】

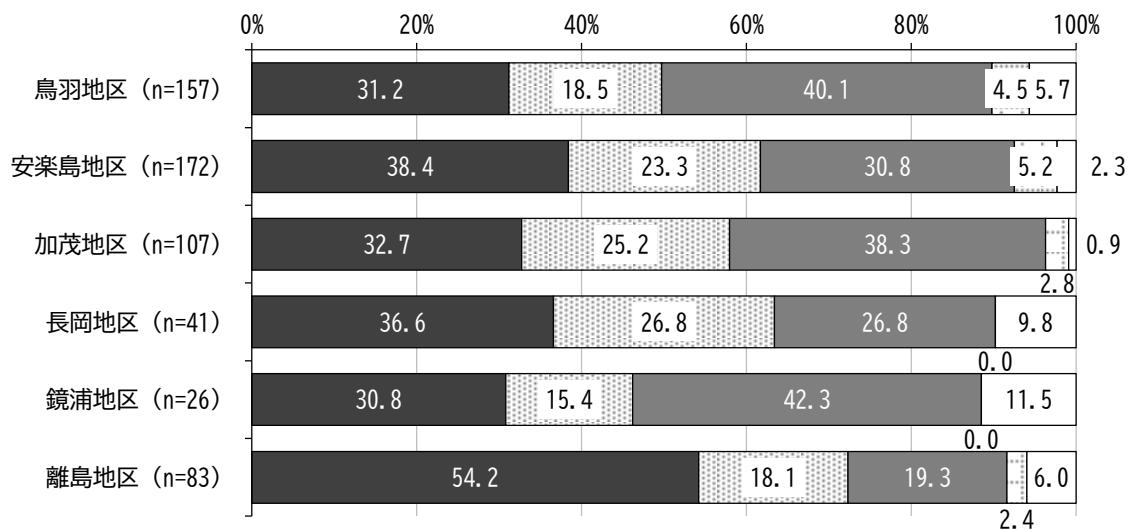
年代別にみると、20歳代、40歳代、50歳代では「居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい。」、その他の年代では「居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっても、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形が良い。」がそれぞれ最も高くなっています。



- 居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっても、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形が良い。
- 居住地区でサービスが何らかの形で受けられるように（例えば、オンライン診療の強化、移動販売、ネットスーパーの利用等）工夫すれば公共交通は縮小する方向でよい。
- 居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい。
- その他
- 不明・無回答

## 【地区別】

地区別にみると、鳥羽地区、加茂地区、鏡浦地区では「居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい。」、安楽島地区、長岡地区、離島地区では「居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっていて、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形が良い。」がそれぞれ最も高くなっています。



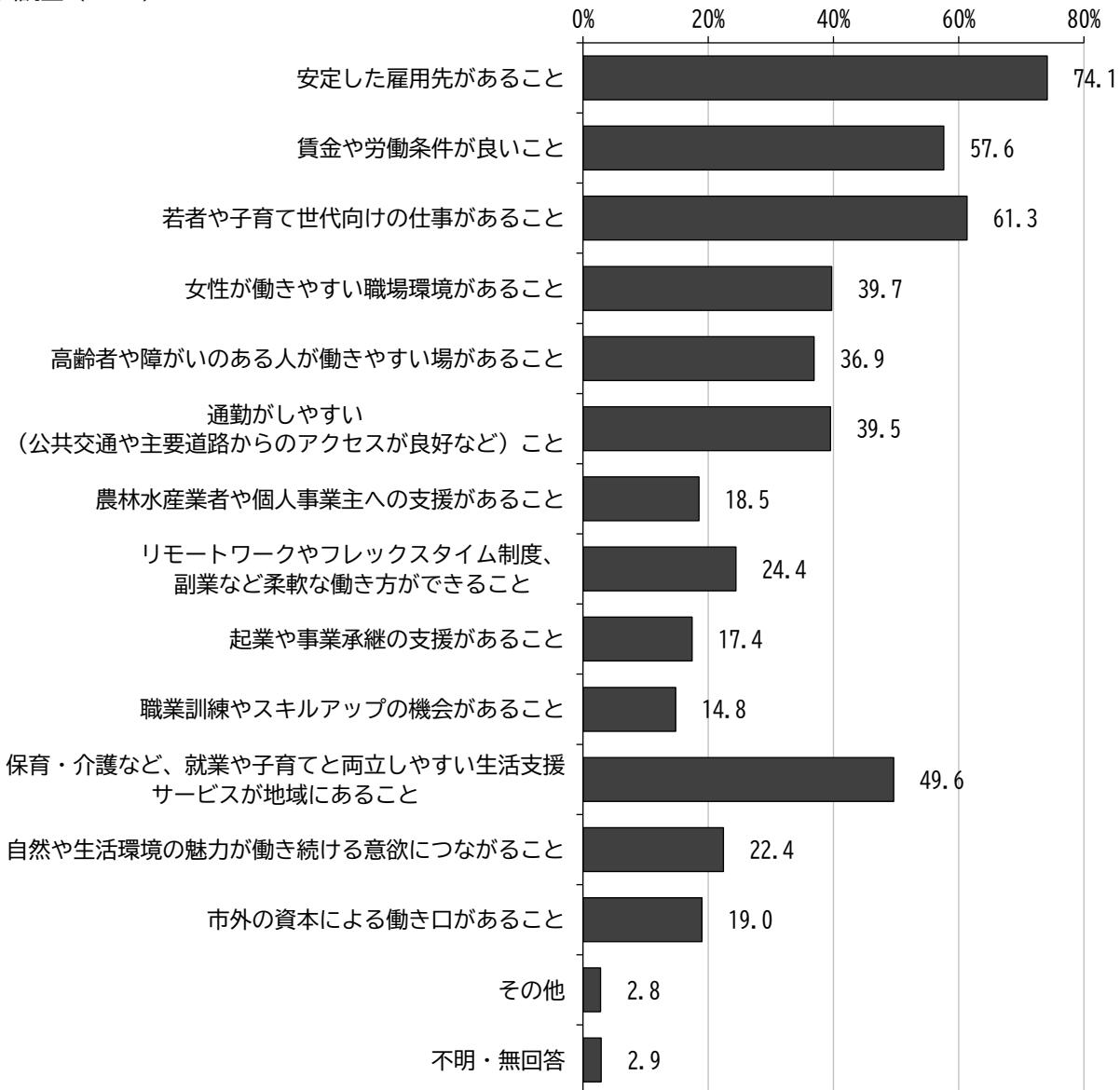
- 居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっていて、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形が良い。
- ▨ 居住地区でサービスが何らかの形で受けられるように（例えば、オンライン診療の強化、移動販売、ネットスーパーの利用等）工夫すれば公共交通は縮小する方向でよい。
- 居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい。
- その他
- 不明・無回答

Q11 鳥羽市で働く（働き続ける）ために必要と思う環境はどんなものですか。  
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

鳥羽市で働くために必要な環境についてみると、「安定した雇用先があること」が 74.1%と最も高く、次いで「若者や子育て世代向けの仕事があること」が 61.3%、「賃金や労働条件が良いこと」が 57.6%となっています。

今回調査 (n=615)



## 【年代別】

年代別にみると、20歳代、30歳代では「賃金や労働条件が良いこと」、その他の年代では「安定した雇用先があること」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		安定した雇用先があること	賃金や労働条件が良いこと	若者や子育て世代向けの仕事があること	女性が働きやすい職場環境があること	や高齢者や障がいのある人が働きやすい場所があること	通勤がしやすいことからくること	要道勤がしやすいことからくること	支援があること	農林水産業者や個人事業主への支援	方ができる柔軟な働き方	リモートワークやフレックスタイム制度、副業など柔軟な働き方	と起業や事業承継の支援があること	が職業訓練やスキルアップの機会	と保育・介護など、就業支援や子育て支援があること	自然や欲生活環境の魅力が働き続	市外の資本による働き口があること	その他	不明・無回答
今回調査 (n=615)		74.1	57.6	61.3	39.7	36.9	39.5	18.5	24.4	17.4	14.8	49.6	22.4	19.0	2.8	2.9			
年代別	20歳未満 (n=5)	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0			
	20歳代 (n=23)	69.6	73.9	65.2	34.8	21.7	69.6	17.4	26.1	13.0	17.4	34.8	26.1	17.4	0.0	0.0			
	30歳代 (n=37)	70.3	81.1	70.3	45.9	27.0	48.6	21.6	40.5	13.5	18.9	51.4	29.7	2.7	0.0	0.0			
	40歳代 (n=63)	73.0	68.3	65.1	41.3	31.7	41.3	19.0	33.3	15.9	19.0	60.3	15.9	17.5	4.8	0.0			
	50歳代 (n=90)	78.9	70.0	58.9	48.9	40.0	43.3	21.1	32.2	27.8	14.4	54.4	17.8	23.3	3.3	3.3			
	60歳代 (n=136)	75.0	60.3	65.4	43.4	39.7	40.4	13.2	25.0	16.9	11.0	52.2	21.3	23.5	2.2	0.0			
	70歳代 (n=188)	73.4	45.7	59.6	35.6	39.4	33.5	18.6	14.9	13.3	14.4	44.1	28.2	18.1	1.6	3.7			
	80歳代以上 (n=62)	77.4	46.8	59.7	33.9	40.3	37.1	27.4	24.2	25.8	14.5	51.6	17.7	19.4	6.5	6.5			

## 【地区別】

地区別にみると、長岡地区では「若者や子育て世代向けの仕事があること」、その他の地区では「安定した雇用先があること」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		安定した雇用先があること	賃金や労働条件が良いこと	若者や子育て世代向けの仕事があること	女性が働きやすい職場環境があること	や高齢者や障がいのある人が働きやすい場所があること	通勤がしやすいことからくること	要道勤がしやすいことからくること	支援があること	農林水産業者や個人事業主への支援	方ができる柔軟な働き方	リモートワークやフレックスタイム制度、副業など柔軟な働き方	と起業や事業承継の支援があること	が職業訓練やスキルアップの機会	と保育・介護など、就業支援や子育て支援があること	自然や欲生活環境の魅力が働き続	市外の資本による働き口があること	その他	不明・無回答
今回調査 (n=615)		74.1	57.6	61.3	39.7	36.9	39.5	18.5	24.4	17.4	14.8	49.6	22.4	19.0	2.8	2.9			
地区別	鳥羽地区 (n=157)	72.6	57.3	58.6	41.4	38.9	31.8	13.4	26.8	14.0	15.9	46.5	21.0	15.3	3.2	3.8			
	安楽島地区 (n=172)	75.6	58.1	61.0	38.4	39.5	34.9	14.5	23.3	16.3	14.0	45.3	22.1	20.3	2.9	1.7			
	加茂地区 (n=107)	80.4	74.8	70.1	43.0	35.5	42.1	15.0	32.7	20.6	17.8	63.6	26.2	19.6	0.9	0.0			
	長岡地区 (n=41)	65.9	39.0	70.7	48.8	41.5	43.9	36.6	12.2	22.0	9.8	51.2	22.0	19.5	2.4	2.4			
	鏡浦地区 (n=26)	76.9	57.7	65.4	46.2	38.5	38.5	42.3	19.2	19.2	3.8	42.3	26.9	19.2	0.0	0.0			
	離島地区 (n=83)	73.5	50.6	56.6	33.7	31.3	60.2	26.5	22.9	18.1	14.5	50.6	20.5	22.9	4.8	3.6			

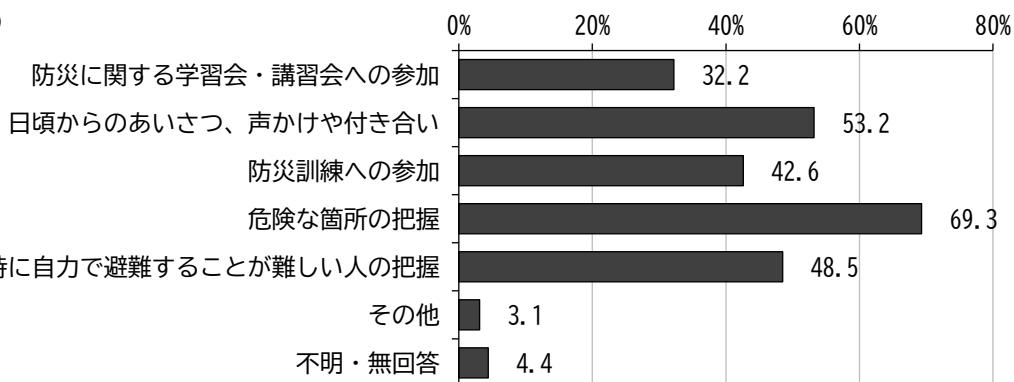
## 7. 防災のまちづくりについて

Q12 あなたは、地域における災害時の備えとして、どのような取り組みが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体】

災害時の備えとして重要だと思う取り組みについてみると、「危険な箇所の把握」が 69.3%と最も高く、次いで「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」が 53.2%、「地域の災害時に自力で避難することが難しい人の把握」が 48.5%となっています。

今回調査 (n=615)



### 【年代別】

年代別にみると、いずれの年代も「危険な箇所の把握」が最も高くなっています。

単位：%		会 防 災 へ に 参 加 す る 学 習 会 ・ 講 習	け 日 や 頃 付 か き 合 い の あ い さ つ 、 声 か	防 災 訓 練 へ の 参 加	危 険 な 箇 所 の 把 握	す れ 地 域 こ と が 災 時 に い 自 人 力 で 把 握 難	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
今回調査 (n=615)		32.2	53.2	42.6	69.3	48.5	3.1	4.4
年 代 別	20歳未満 (n=5)	20.0	40.0	40.0	40.0	60.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=23)	17.4	52.2	47.8	69.6	30.4	4.3	0.0
	30歳代 (n=37)	48.6	62.2	54.1	78.4	43.2	2.7	0.0
	40歳代 (n=63)	30.2	49.2	34.9	76.2	47.6	6.3	1.6
	50歳代 (n=90)	30.0	50.0	40.0	74.4	48.9	4.4	5.6
	60歳代 (n=136)	30.9	57.4	47.1	75.0	52.2	2.2	1.5
	70歳代 (n=188)	34.6	54.3	42.0	62.2	47.3	3.2	3.2
	80歳代以上 (n=62)	33.9	53.2	43.5	69.4	58.1	0.0	6.5

## 【地区別】

地区別にみると、いずれの地区も「危険な箇所の把握」が最も高くなっています。

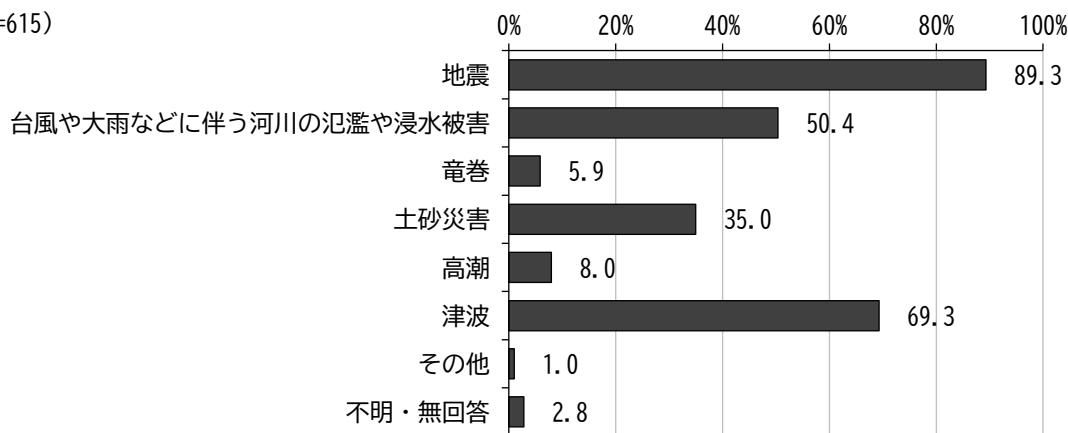
単位：%		防災への に関する 学習会・ 講習	け日 や頃から き合 いさつ、 声か	防災訓練への 参加	危険な箇所の 把握	する地 域の災 害時 にい自 人力で 把握難	その他	不明・ 無回答
今回調査 (n=615)		32.2	53.2	42.6	69.3	48.5	3.1	4.4
地区別	鳥羽地区 (n=157)	25.5	56.1	34.4	72.6	51.0	5.1	2.5
	安楽島地区 (n=172)	33.1	52.3	37.2	69.8	47.1	4.1	2.9
	加茂地区 (n=107)	38.3	53.3	48.6	74.8	53.3	0.9	0.9
	長岡地区 (n=41)	34.1	48.8	43.9	58.5	46.3	0.0	7.3
	鏡浦地区 (n=26)	34.6	57.7	57.7	65.4	42.3	3.8	0.0
	離島地区 (n=83)	36.1	54.2	61.4	67.5	42.2	2.4	2.4

Q13 今後起こりうる大規模自然災害の中で脅威に感じる自然災害はどれですか。  
(3つまで○)

### 【全体】

脅威を感じる自然災害についてみると、「地震」が89.3%と最も高く、次いで「津波」が69.3%、「台風や大雨などに伴う河川の氾濫や浸水被害」が50.4%となっています。

今回調査 (n=615)



### 【年代別】

年代別にみると、30歳代では「地震」「津波」、その他の年代では「地震」がそれぞれ最も高くなっています。

		地震	河台 川風 のや 氾大 氾濫 雨やな ど水に 被伴 害う	竜 巻	土 砂 災 害	高 潮	津 波	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
今回調査 (n=615)		89.3	50.4	5.9	35.0	8.0	69.3	1.0	2.8
年 代 別	20歳未満 (n=5)	100.0	40.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=23)	95.7	34.8	0.0	30.4	13.0	73.9	0.0	0.0
	30歳代 (n=37)	91.9	45.9	2.7	32.4	5.4	91.9	0.0	0.0
	40歳代 (n=63)	93.7	60.3	1.6	42.9	3.2	69.8	1.6	0.0
	50歳代 (n=90)	90.0	47.8	4.4	41.1	5.6	74.4	1.1	2.2
	60歳代 (n=136)	91.9	50.0	5.9	39.0	7.4	72.1	0.0	0.7
	70歳代 (n=188)	89.9	53.7	9.0	29.3	11.2	63.3	1.1	2.1
	80歳代以上 (n=62)	85.5	51.6	6.5	35.5	9.7	67.7	3.2	1.6

## 【地区別】

地区別にみると、いずれの地区も「地震」が最も高くなっています。

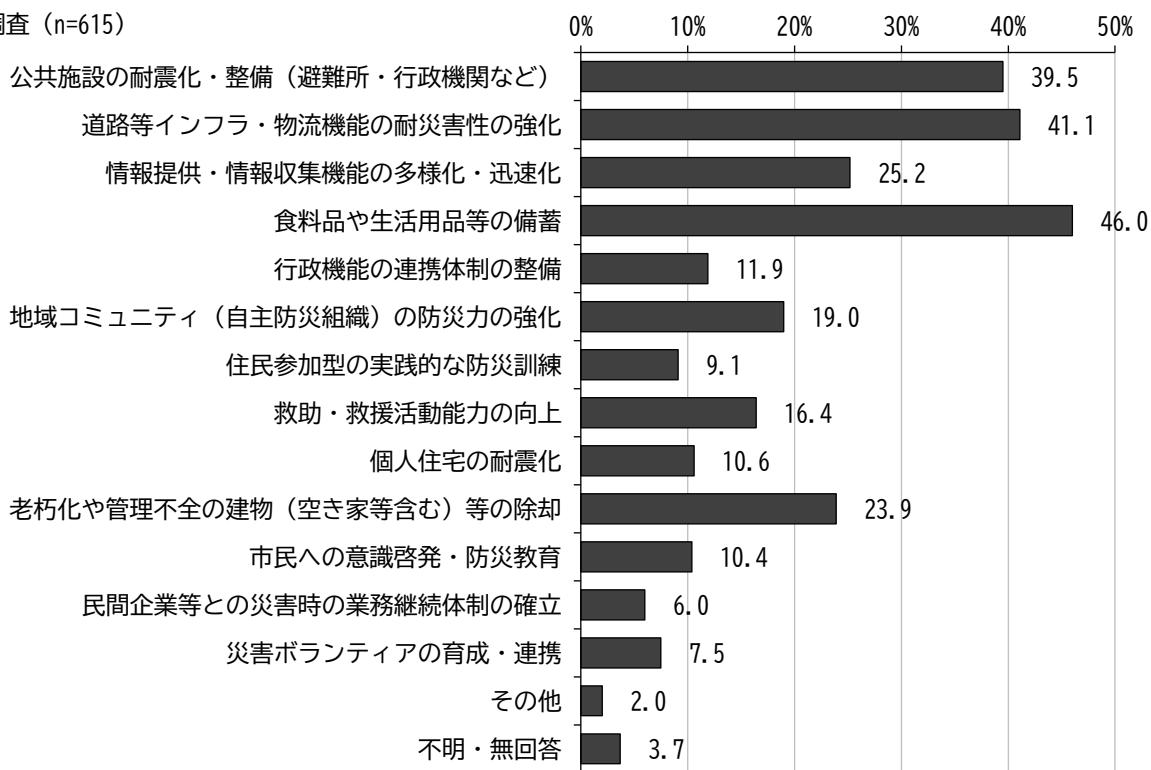
単位：%		地 震	河台 川風 のや 氾大 濫雨 やな 浸ど 水に 被伴 害う	竜 巻	土 砂 災 害	高 潮	津 波	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
今回調査 (n=615)		89.3	50.4	5.9	35.0	8.0	69.3	1.0	2.8
地区別	鳥羽地区 (n=157)	91.1	50.3	7.6	43.3	5.1	63.1	1.3	0.6
	安楽島地区 (n=172)	93.0	49.4	7.6	30.2	8.1	73.8	1.2	0.6
	加茂地区 (n=107)	89.7	72.0	5.6	36.4	0.9	63.6	0.0	1.9
	長岡地区 (n=41)	87.8	41.5	2.4	17.1	9.8	68.3	2.4	2.4
	鏡浦地区 (n=26)	84.6	50.0	0.0	50.0	19.2	76.9	0.0	0.0
	離島地区 (n=83)	92.8	34.9	3.6	32.5	18.1	86.7	1.2	0.0

Q14 本市において大規模自然災害に対する対策として優先度が高いと思われるものはどれですか。(3つまで○)

【全体】

大規模自然災害対策として優先度が高いものについてみると、「食料品や生活用品等の備蓄」が 46.0% と最も高く、次いで「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」が 41.1%、「公共施設の耐震化・整備（避難所・行政機関など）」が 39.5% となっています。

今回調査 (n=615)



## 【年代別】

年代別にみると、20歳代では「公共施設の耐震化・整備（避難所・行政機関など）」、40歳代では「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」、50歳代では「公共施設の耐震化・整備（避難所・行政機関など）」「食料品や生活用品等の備蓄」、70歳代では「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」「食料品や生活用品等の備蓄」その他の年代では「食料品や生活用品等の備蓄」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		～公共施設の行政機関・な整備	の道耐害性の強化	多情提供・迅情報収集機能の備蓄	食料品や生活用品等の備蓄	行政機能の連携体制の整備	災地組織の防災力の強化	訓練住民参加型の実践的な防災	救助・救援活動能力の向上	個人住宅の耐震化	（老朽化や管理不全の建物却	育市民への意識啓発・防災教	務継続体制の確立	連携災害ボランティアの育成・	その他	不明・無回答
今回調査 (n=615)		39.5	41.1	25.2	46.0	11.9	19.0	9.1	16.4	10.6	23.9	10.4	6.0	7.5	2.0	3.7
年代別	20歳未満 (n=5)	40.0	20.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=23)	69.6	52.2	17.4	56.5	0.0	4.3	17.4	8.7	13.0	13.0	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0
	30歳代 (n=37)	45.9	48.6	13.5	51.4	5.4	10.8	5.4	27.0	24.3	29.7	8.1	5.4	0.0	2.7	0.0
	40歳代 (n=63)	36.5	52.4	19.0	50.8	6.3	15.9	4.8	22.2	11.1	25.4	9.5	7.9	7.9	6.3	1.6
	50歳代 (n=90)	46.7	43.3	31.1	46.7	11.1	18.9	4.4	16.7	5.6	23.3	8.9	11.1	7.8	2.2	2.2
	60歳代 (n=136)	33.8	41.2	32.4	47.1	15.4	25.0	9.6	10.3	9.6	26.5	9.6	7.4	7.4	0.7	0.0
	70歳代 (n=188)	35.1	39.9	25.0	39.9	13.8	23.9	12.2	20.2	10.6	20.2	12.8	3.7	10.6	1.6	3.7
	80歳代以上 (n=62)	48.4	29.0	22.6	53.2	11.3	9.7	11.3	12.9	11.3	33.9	8.1	3.2	4.8	1.6	6.5

## 【地区別】

地区別にみると、安楽島地区では「公共施設の耐震化・整備（避難所・行政機関など）」、加茂地区、長岡地区では「道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化」、その他の地区では「食料品や生活用品等の備蓄」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		～公共施設の行政機関・な整備	の道耐害性の強化	多情提供・迅情報収集機能の備蓄	食料品や生活用品等の備蓄	行政機能の連携体制の整備	災地組織の防災力の強化	訓練住民参加型の実践的な防災	救助・救援活動能力の向上	個人住宅の耐震化	（老朽化や管理不全の建物却	育市民への意識啓発・防災教	務継続企体制の確立	連携災害ボランティアの育成・	その他	不明・無回答
今回調査 (n=615)		39.5	41.1	25.2	46.0	11.9	19.0	9.1	16.4	10.6	23.9	10.4	6.0	7.5	2.0	3.7
地区別	鳥羽地区 (n=157)	35.0	38.9	24.8	45.9	14.6	20.4	8.9	14.6	10.2	24.8	9.6	9.6	9.6	3.2	3.2
	安楽島地区 (n=172)	45.9	41.3	30.2	39.0	10.5	13.4	11.0	15.7	11.6	22.7	12.8	4.7	7.0	1.7	2.3
	加茂地区 (n=107)	44.9	56.1	21.5	48.6	12.1	20.6	7.5	17.8	12.1	18.7	12.1	6.5	3.7	0.9	0.0
	長岡地区 (n=41)	26.8	46.3	22.0	41.5	14.6	19.5	12.2	14.6	9.8	22.0	7.3	4.9	9.8	2.4	7.3
	鏡浦地区 (n=26)	26.9	53.8	34.6	69.2	11.5	15.4	0.0	0.0	15.4	30.8	11.5	0.0	7.7	0.0	0.0
	離島地区 (n=83)	43.4	22.9	21.7	56.6	6.0	27.7	10.8	28.9	9.6	32.5	9.6	6.0	8.4	0.0	1.2

第六次鳥羽市総合計画に関する  
アンケート調査  
結果報告書

発行：鳥羽市 企画財政課 企画経営室  
TEL：0599-25-1101  
FAX：0599-25-3111

発行年月：令和7年8月